CRÉDIT AGRICOLE S.A.

PRESS RELEASE

本書は、英語による Crédit Agricole SA 2019 年度第 4 四半期報告書の抄訳であり、英語による原文がすべての点においてこの日本語の抄訳に優先します。疑義がある場合には英語の原文に従い解釈をお願いいたします。

2020 年 2 月 14 日　モンルージュ

2019 年度第 4 四半期及び 2019 年度の業績結果

歴史的水準に達した年次業績

クレディ・アグリコル S.A.

基礎収益[1]	基礎純利益[2]	基礎 ROTE
当四半期：51 億 8,400 万ユーロ	**当四半期：13 億 1,800 万ユーロ**	**11.9%**
前年同期比+7.7%	前年同期比+23.5%	**CET1 レシオ**
当年度：203 億 3,900 万ユーロ	**当年度：45 億 8,200 万ユーロ**	**12.1%**
前年比+3.3%	前年比+4.0%	12 月/9 月で+0.4 ポイント MTP 目標を大幅に超過

- **表示純利益の急増**：当四半期は 16 億 6,100 万ユーロ、前年同期比+64.9%；当年度は 48 億 4,400 万ユーロ、前年比+10.1%
- エンポリキに対するフランス国務院の好ましい決定（+10 億 3,800 万ユーロ）と特殊要因に分類される LCL に関するのれんの一部減損（-6 億 1,100 万ユーロ）（当四半期の純利益グループ帰属分は前年同期の-5,900 万ユーロに対して総額+3 億 4,300 万ユーロ）
- **当四半期と当年度の基礎的利益 [1] が共に増加（前年同期比+23.5%と前年比+4.0%）、2019 年度は歴史的水準に**
- **高い収益性**：2019 年度の**基礎 ROTE[3]は 11.9%**
- **基礎 EPS：当四半期は前年同期比+28.1%の 0.42 ユーロ**、当年度は前年比+0.1%**の 1.39 ユーロ（当年度第 3 四半期の AT1 クーポンに対する為替の影響を除くと+2.9%）**
- **株主総会で前年比+1.4%となる 0.70 ユーロの配当提案**
- 当年度の業績の伸びに対して**全ての事業部門がプラスの寄与**、当年度の比較的明るい市況の中で**基礎収益が増加**（前年同期比+7.7%、前年比+3.3%）。信用リスク関連費用は正常水準まで回復（32 ベーシス・ポイント[4]）
- **大幅なプラスの乖離効果（前年同期比+5.5 ポイント）と** SRF[5]を除いた**基礎コスト比率の改善**（当四半期は-3.4 ポイントの 62.6%、当年度は-1.1 ポイントの 61.0%）
- 当四半期の **CET1 レシオは+0.4 ポイントの 12.1%**で、クレディ・アグリコル S.A.にとっては逆希薄化効果のある 2020 年度第 1 四半期の Switch メカニズムの初回の 35%解除が可能に；**当四半期は各事業部門でリスク・ウェイト資産が減少**

クレディ・アグリコル・グループ*

基礎収益 [1]	基礎純利益 [2]	CET1 レシオ
当四半期：86 億 200 万ユーロ	**当四半期：19 億 8,600 万ユーロ**	**15.9%**
前年同期比+6.7%	前年同期比+22.1%	12 月/9 月で+0.4 ポイント
当年度：337 億 9,000 万ユーロ	**当年度：71 億 9,100 万ユーロ**	SREP を 6.2 ポイント超過[6]
前年比+3.0%	前年比+5.0%	

- **当四半期の表示純利益グループ帰属分 [2]：21 億 8,600 万ユーロ**、前年同期比+39.2%（当年度：71 億 9,800 万ユーロ、前年比+5.2%）
- **地域銀行**：基礎純利益グループ帰属分 [1] の増加（前年同期比+26.6%、前年比+8.1%）、リスク関連費用は 10 ベーシス・ポイント [4]
- **当グループのプロジェクトの初めての実施**：当グループの収益面の相乗効果は 90 億ユーロ（+3 億ユーロ）、フランスとイタリアでの活発な顧客獲得（180 万人の個人とアントレプレナー）、提携事業の調印や強化による各事業部門（アムンディ、CACF、CAA、CACEIS）の海外事業拡大

* *クレディ・アグリコル S.A.と地域銀行の 100%。*

本プレスリリースでは、クレディ・アグリコル S.A.及びクレディ・アグリコル S.A.の子会社とクレディ・アグリコル地域銀行（クレディ・アグリコル S.A.の 55.9%を所有しています）で構成されるクレディ・アグリコル・グループの業績についてコメントします。特殊要因の詳細（これは、基礎的利益を計算するためにさまざまな指標で修正再表示されます）については、本プレスリリースの 21 ページ以降を参照ください。表示損益計算書と基礎的損益計算書との調整は、クレディ・アグリコル・グループについては 27 ページ以降、クレディ・アグリコル S.A.については 23 ページ以降に記載されています。

---

[1] *本プレスリリースにおいて、「基礎」とは、31 ページ以降に記載される特殊要因について調整された中間残高をいう。*
[2] *純利益グループ帰属分。*
[3] *特殊要因を除いた基礎。特殊要因の詳細については 21 ページ以降、ROTE の計算については 31 ページをそれぞれ参照。*
[4] *過去のローリング 4 四半期を対象とした年換算平均。*
[5] *単一破綻処理基金（SRF）への拠出金。*
[6] *9.7%の SREP 要件に準拠（カウンターシクリカル・バッファーを含む）。*

クレディ・アグリコル S.A.

四半期ベースで純利益グループ帰属分が大幅増

- **報告実績の急増**：当四半期は 16 億 6,100 万ユーロ、前年同期比 64.9%増（当年度は 48 億 4,400 万ユーロ、前年比 10.1%増）、エンポリキに対するフランス国務院の好ましい決定（+10 億 3,800 万ユーロ）と特殊要因に分類される LCL に関するのれんの一部減損（-6 億 1,100 万ユーロ）（当四半期の純利益グループ帰属分は前年同期の-5,900 万ユーロに対して総額+3 億 4,300 万ユーロ）

- 当四半期と当年度の基礎純利益[1]が共に増加（前年同期比 23.5%増の 13 億 1,800 万ユーロと前年比 4.0%増の 45 億 8,200 万ユーロ）、2019 年度の基礎純利益グループ帰属分は歴史的水準（45 億 8,200 万ユーロ）に

高い水準の収益性：基礎 ROTE は 11.9%

配当は前年比 1.4%増の 0.70 ユーロ

- **基礎 EPS**：当四半期は前年同期比 28.1%増の 0.42 ユーロ、当年度は前年比 0.1%増の 1.39 ユーロ（当年度第 3 四半期の AT1 クーポンに対する為替の影響を除くと 2.9%増）

- **配当の性向と規則性**：株主総会で前年比 1.4%増となる 0.70 ユーロの配当提案（分配方針の確認）

全ての事業部門での営業活動の拡大

- **資産運用部門**での記録的な資金流入額（純額）、市場のプラス影響、損害保険部門の保険料収入の 7.7%増、2019 年度の個人保障保険の 8.7%増

- フランスとイタリアでの**リテール・バンキング部門**の活発な**顧客獲得**（2019 年度は 180 万人の個人とアントレプレナー）、貯蓄と貸付の急成長（フランスとイタリアのリテール・ネットワークでは 12 月時点で前年比 6.7%増）

- **消費者金融部門**での**事業組成拡大**（12 月時点の運用残高が前年比 4.0%増）、リース組成の伸びは 2014 年以降で最高水準

- **資本市場**での活発な営業活動、2019 年に市場環境が更に好転し、**ストラクチャード・ファイナンス部門**での活動が拡大、**資産運用サービス部門**の管理資産及びカストディー資産が増加

2019 年度は各事業部門が利益増加にプラスの寄与

- **基礎収益の増加**（前年同期比 7.7%増、前年比 3.3%増）

- **大幅なプラスの乖離効果**（前年同期比 5.5 ポイント増）、アセット・ギャザリング部門での開発投資にもかかわらず SRF[7]を除いた基礎コスト比率が改善（当四半期は 3.4 ポイント減の 62.6%、当年度は 1.1 ポイント減の 61.0%）

- 活動水準に対する疑問が提起されることなく、法人営業及び投資銀行部門の証券化取引が寄与して当四半期は**各事業部門でリスク・ウェイト資産が減少**（12 月/9 月で 2.0%減）

---

[7] *単一破綻処理基金（SRF）への拠出金。*

- **信用リスク関連費用は正常水準まで回復**（32 ベーシス・ポイント）

財務力：CET1 レシオは 12.1%（12 月/9 月で 0.4 ポイント増）で、2020 年度第 1 四半期の Switch メカニズムの 35%の部分解除が可能に（クレディ・アグリコル S.A.については徐々に拡大）

当グループのプロジェクトと MTP 2020

当グループのプロジェクトと MTP の実施開始、事業部門間の連携強化

- 当グループの**収益面の相乗効果**は 3 億ユーロ増の 90 億ユーロ（保険部門が主にけん引）
- **顧客プロジェクト**：地域銀行と LCL のネットプロモータースコアの伸び、革新的商品の発売、対顧客関係のデジタル化強化、Trajectoires Patrimoine 施策の一環として 50 万人の顧客と接触
- **人間主体のプロジェクト**：「フィナンシャルタイムズ」紙は、クレディ・アグリコル・グループをダイバーシティの面でフランスの金融サービス部門第 1 位に選定
- **社会プロジェクト**：クレディ・アグリコル S.A.は 10 億ユーロ規模のグリーンボンドを発行、クレディ・アグリコル・ホーム・ローン SFH は 12 億 5,000 万ユーロ規模のグリーンカバードボンドを発行
- **提携事業**を通じた各事業部門の海外事業拡大（CACEIS サンタンデール、CACEIS KAS バンク、CAA アバンカ、CACF BBPM、CACF バンク、CAC FCA バンク、アムンディ・サバデル、アムンディ・バンク・オブ・チャイナ）

2019 年度第 4 四半期及び通年の財務諸表を検証するため、ドミニク・ルフェーブルを議長とするクレディ・アグリコル S.A.の取締役会が 2020 年 2 月 13 日に開かれました。

2019 年度第 4 四半期の表示純利益グループ帰属分は、前年同期の 10 億 800 万ユーロに対して **16 億 6,100 万ユーロ**でした。当四半期の**特殊要因**は、**純利益グループ帰属分に 3 億 4,300 万ユーロ（純額）のプラス影響**をもたらしました。なお、2018 年度第 4 四半期には、特殊要因は 5,900 万ユーロの限定的なマイナス影響を与えました。

これらの特殊要因を除いた当四半期の**基礎純利益グループ帰属分**は、総額 **13 億 1,800 万ユーロ**で、前年同期比 **23.5%増**でした。

当四半期の **1 株当たりの基礎的利益**は、前年同期比 **28.1%増**の **0.42 ユーロ**でした。

クレディ･アグリコル S.A. ― 表示実績と基礎的実績（2019 年度第 4 四半期と 2018 年度第 4 四半期）						
In €m	Q4-19 stated	Q4-18 stated	Var Q4/Q4 stated	Q4-19 underlying	Q4-18 underlying	Var Q4/Q4 underlying
Revenues	**5,119**	**4,853**	+5.5%	**5,184**	**4,814**	+7.7%
Operating expenses excl.SRF	(3,260)	(3,213)	+1.5%	(3,244)	(3,175)	+2.2%
SRF	(0)	-	n.m.	(0)	-	n.m.
Gross operating income	**1,859**	**1,641**	**+13.3%**	**1,940**	**1,640**	**+18.3%**
Cost of risk	(340)	(246)	+38.0%	(340)	(246)	+38.0%
Cost of legal risk	-	(75)	(100.0%)	-	(75)	(100.0%)
Equity-accounted entities	76	7	x 10.3	76	74	+2.6%
Net income on other assets	14	56	(74.7%)	20	56	(63.7%)
Change in value of goodwill	(589)	-	n.m.	-	-	n.m.
Income before tax	**1,021**	**1,383**	**(26.2%)**	**1,697**	**1,450**	**+17.1%**
Tax	847	(222)	n.m.	(219)	(221)	(1.0%)
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	(46)	(0)	n.m.	(0)	(0)	n.m.
Net income	**1,821**	**1,161**	**+56.8%**	**1,479**	**1,229**	**+20.4%**
Non controlling interests	(160)	(154)	+4.0%	(161)	(162)	(0.6%)
Net income Group Share	**1,661**	**1,008**	**+64.9%**	**1,318**	**1,067**	**+23.5%**
Earnings per share (€)	**0.54**	**0.31**	**+75.5%**	**0.42**	**0.33**	**+28.1%**
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	**63.7%**	**66.2%**	**-2.5 pp**	**62.6%**	**65.9%**	**-3.4 pp**

活動

クレディ･アグリコル S.A.の各事業部門の営業活動は、困難な金利環境が続く中でも市況改善が徐々に進んだことを背景に、**当四半期及び当年度とも活発に展開されました。**

クレディ･アグリコル S.A.の各事業部門は、貸付、顧客貯蓄、資産と個人客の保護の分野で当四半期も精力的に活動を展開しました。顧客のクロスセルが拡大し、このことは、当グループの顧客重視型ユニバーサル銀行モデルの収益面の相乗効果を通じた有機的成長の可能性を反映しています。

貯蓄/退職保険部門では、残高（貯蓄、退職保険、死亡･高度障害保険）が 2018 年 12 月時点と比べて 6.6%増の 3,040 億ユーロに達しました（このうちの 22.8%は、1 年間で 1.8 ポイント増となったユニット･リンク型保険）。当四半期の保険料収入は、合計資金流入額（純額）が前年同期比 11 億ユーロ減の 10 億ユーロとなった結果、前年同期と比べて 12.0%減の 60 億ユーロでした。資金流入額（純額）は、全面的にユニット･リンク型保険からもたらされ、この保険契約は、それぞれ前年同期比 4.4 ポイント増、前四半期比 4.2 ポイント増を記録し、当四半期の流入額全体の 33.4%を占めました。クレディ･アグリコル･アシュアランスは、ここ数年間で低金利環境に合わせて戦略を練り直し、こうした状況に関しては大きく柔軟性を高めています。ユーロ建て契約資産の平均利益率は 2019 年度に 2.46%に達し、また、2019 年 12 月末時点の保険契約者配当準備金（「PPE」）は、2018 年 12 月時点と比べて 9 億 4,800 万ユーロ増の 108 億ユーロとなりました。これは、資本利益率と負債利益率とのスプレッドが維持されたためです。PPE は、ユーロ建て契約残高の 5.2%に達し、引当水準はフランス市場の平均を上回っています。クレディ･アグリコル･アシュアランスのソルベンシーは安定した水準にあります（263%（PPE の統合に関する新ルールを除くと 188%））。同社はまた、今後もユニット･リンク型保険の引受けを促進する施策を継続します。

損害保険部門では、クレディ･アグリコル･アシュアランスが、フランス（前年同期比 6.9%増）とイタリア（同 1.6%増）で力強い成長を維持して保険料が前年同期比 6.7%増となったことで、当四半期もフランス市場を上回る業績となりました。パシフィカは、当四半期中に契約の 11 万 5,000 件の純増を記録し、契約件数は 2019

年 12 月末時点でおよそ 1,410 万件となりました。LCL ネットワークでは、個人客[8]のクロスセル・レートは、LCL ネットワーク（2019 年 12 月末時点では、前年 12 月以降 1.1 ポイント増の 25.0%）と、地域銀行のネットワークと CA イタリア（2019 年 12 月末時点で前年同時期から 1.5 ポイント増の 40.7%と 2019 年 12 月末時点で前年同時期から 1.7 ポイント増の 15.4%）でも増加しました。コンバインドレシオは、2019 年度下半期の気象事象により前年同時期から 0.4 ポイントの微増となる 95.9%でした。**死亡・高度障害保険/債権者保険/団体保険部門**では、3 つの事業部門全てが成長したことで、当四半期の収益が前年同期比 9.1%増のおよそ 10 億 2,400 万ユーロに達しました。

資産運用部門（アムンディ）は、当四半期に 768 億ユーロ増という記録的な資金流入額（純額）を計上しました。これに寄与したのは、リテール部門における中長期リテール資産の好調な資金流入（699 億ユーロ。インド（614 億ユーロ増）がけん引役となった合弁事業（667 億ユーロ増）とグループ外販売会社（32 億ユーロ増）を含む）でした。機関投資家と企業投資家の中長期資金流入額は、全ての部門が寄与して 125 億ユーロ増でした。2019 年 12 月末時点の運用資産は、グローバル環境の不確実性が続いているにもかかわらず、1 兆 6,530 億ユーロ（前年同時期比 16.0%増）に達しました。

リテール・バンキング部門は、特に住宅ローン（9.2%増）、スモール・ビジネス市場（11.4%増）、及びアントレプレナー（3.3%増）が寄与したフランスの LCL（2018 年 12 月末時点と比べて 8.2%増）に加えて、個人向けと企業向けの貸付（それぞれ 4.9%増と 4.3%増）がけん引したイタリアの CA イタリア（2.6%増）も貸付が高い伸び率となり、引き続き好業績を見せています。LCL では、住宅ローンの条件再交渉がこの 2 四半期で増加しましたが（2019 年度第 3 四半期及び第 4 四半期でそれぞれ 10 億ユーロの残高）、2016 年度第 4 四半期の高水準（52 億ユーロ）を大きく下回っています。LCL の資金流入額は、オン・バランスシート預金（非課税貯蓄性預金の 7.8%増と要求払預金の 11.7%増を含めて 8.6%増）だけでなく、生命保険（5.5%増）が寄与したオフ・バランスシート預金（6.0%増）がけん引役となり前年同期比 7.6%増でした。イタリアでの資金流入額は、オフ・バランスシート預金（8.8%増）とオン・バランスシート預金の微増（1.6%増）が寄与して増加しました（4.9%増）。顧客獲得（純増）については、LCL（年初以降の個人客、SME、スモール・ビジネス顧客の 5 万 2,000 人増と 4 月の LCL Essentiel 導入以降の 1 万 7,000 人の顧客増）及び CA イタリア（年初以降の個人客[9]の 3 万 3,000 人増）で現在も活発です。クロスセル・レートは持続的に上昇しています（LCL の総合住宅・自動車・健康保険契約の 6.6%増とプレミアムカードの 4.6%増、及び CA イタリアの損害保険契約件数の前年同期比 25%増）。

専門金融サービス部門の当四半期の新規事業組成は、地域銀行と LCL（それぞれ 12.9%増と 7.6%増）が大きく寄与して前年同期比 3.3%増の 115 億ユーロとなり、引き続き上昇傾向にあります。資産運用額は前年同期比 4.0%増となる総額 920 億ユーロでした。連結残高も 3.6%増の 348 億ユーロでした。CAL&F の活動は、ファクタリングとリースの双方で活発でした。企業向けファクタリングの組成は、フランス（144%増の 30 億ユーロ）と国外（87%増の 18 億ユーロ）の双方で前年同期以降急増しています（119%増の 49 億ユーロ）。商業リースは 2014 年以降で最高水準に達しました（2018 年度第 4 四半期から 9.3%増の 18 億ユーロ）。

大口顧客部門の活動は全般的に好調で、収益は当四半期（前年同期比 20.7%増）と当年度（同 6.5%増）とも拡大しました。資本市場及び投資銀行部門からの当四半期の基礎収益は、低調だった前年同期から市況が好転したことで、ほぼ全ての商品ラインでの強力な営業活動を主な要因として急増しました（前年同期比 54.7%増）。ストラクチャード・ファイナンスは、大型取引がなかったものの当四半期に好業績を記録する一方（7.2%増）、商業銀行部門の収益は、

---

[8] クロスセル・レート：最低でも 1 件の保険商品を保有するバンキング部門の個人客の比率（パシフィカの試算値）。対象範囲：自動車、住宅、健康、生命・傷害、及び法的保護の各保険。

[9] アクティブ顧客。

EMEA 圏のシンジケートローン市場の低迷（前年同期比 10%減）によって悪影響を受けました（2.3%減）[10]。それでも、当部門は EMEA 圏でのシンジケートローンで第 2 位を維持しています[11]。最後に、資産運用サービス部門（CACEIS）は、KAS バンク（1,960 億ユーロ増のカストディー資産（AuC）と 1,420 億ユーロ増の資産管理（AuA））、サンタンデール・セキュリティーズ・サービシズ（「S3」）（6,540 億ユーロ増の AuC と 120 億ユーロ増の AuA）の統合と共に、活発な営業活動とプラスの市場影響（スコープに変化のないベースで 3,950 億ユーロ増の AuC と 2,010 億ユーロ増の AuA）が特に寄与して、当四半期にはカストディー資産（前年比 47.3%増の 3 兆 8,790 億ユーロ（2019 年 12 月末時点））と資産管理（前年同期比 21.0%増の 2 兆 470 億ユーロ）が記録的水準となりました。

提携事業を通じた各事業部門の海外事業拡大

2019 年 6 月 6 日の当グループの中期計画発表時に概説した戦略に従って、アムンディと CACEIS は、当四半期も欧州とアジアで当グループ以外の提携事業を拡大しました。

機関投資家向けカストディー事業部門と資産運用サービス事業部門の合併に関するクレディ・アグリコル S.A. とサンタンデールの合意が 4 月 17 日に発表された後、両社は 12 月 23 日、欧州で主要プレーヤーの誕生となる CACEIS とサンタンデール・セキュリティーズ・サービシズ（「S3」）の合併完了を発表しました。新会社は、「CACEIS」の名称を維持し、クレディ・アグリコル S.A.とサンタンデールの保有率はそれぞれ 69.5%、30.5%となります。両社は、スペイン及び中南米（ブラジル、メキシコ、コロンビア）のそれぞれの事業を統合する予定です。2019 年 12 月末時点でカストディー資産が 3 兆 8,790 億ユーロ、資産管理額が 2 兆 470 億ユーロとなるこの新会社は、潜在性の高い市場（中南米とアジア）での成長に伴う存在感の高まりが寄与して、規模拡大と競争的地位の強化で利益を得るでしょう。

アムンディと **BOC ウェルス・マネジメント（中国銀行の子会社）**は 2019 年 12 月 20 日、資産運用の合弁会社設立について中国銀行業保険監督管理委員会から承認を得たことを発表しました。目標は、2020 年度下半期に営業活動を開始することです。

アムンディはまた、2020 年 1 月 21 日にスペインの**バンコ・サバデル**の支店網での資産運用商品の販売で同行と 10 年間の戦略的提携を結んだことを発表しました。アムンディは更に、同行の資産運用子会社であるサバデル・アセット・マネジメント（スペイン市場で第 5 位の運用会社で同国での市場シェアは 6%、運用資産額は 220 億ユーロ）を現金取得価格 4 億 3,000 万ユーロで完全取得する予定です。この買収は、2020 年度第 3 四半期に完了する見込みで、アムンディはスペイン市場で第 4 位の運用会社になります。

これらの買収に加えて、**2019 年初頭以降には以下のような取引が発表されました**。

KAS バンクの全株式資本を対象に CACEIS が 7 月 26 日に実施した友好的な株式公開買い付けの後、**KAS バンク**は、2019 年 9 月 30 日時点の CACEIS の財務諸表で連結化されました。これは、オランダでの自らの地位と保険会社及び年金基金から成る顧客基盤に対応する能力を高めることで、欧州全体に及ぶ自らの野心を明確にするものです。この買収は、その大きな潜在的相乗効果によって価値を創造するでしょう。

CA コンシューマー・ファイナンスは 2019 年 6 月 28 日、世界規模の提携関係を強化するために**バンコ BPM**（イタリア第 3 位の銀行）との最終契約に調印しました。これにより、商業関係がバンコ BPM の支店網全体に拡大され（プロファミリーの銀行業務部門の取得を含む）、契約期間が 15 年延長されます。CACF はまた、折半出資合弁事業を 2024 年 12 月 31 日まで延長する契約を、2019 年 7 月 19 日に**フィアット・クライスラー・オ**

[10] EMEA 圏に関してはトムソン・ロイター。
[11] 出典：レフィニティブ。

ートモービルズ（FCA）と結びました。当年度第 3 四半期には、2018 年 3 月 7 日に CA コンシューマー・ファイナンスと**バンキア**の間で結ばれた提携事業によりSoYou の初回連結対象化が行われました。この合弁会社は 2019 年 10 月 10 日、金融信用機関として営業することをスペインの経済省によって承認されました。

クレディ・アグリコル・アシュアランスと**アバンカ**は 7 月 8 日、30 年の期間でスペインとポルトガルを市場とする損害保険会社を設立する提携事業契約を結びました。この契約は、技術ソリューションと異なる顧客経験をベースに革新的商品を市場に提案する折半出資の合弁会社設立を定めています。この提携では、顧客基盤に関するアバンカの知識と、欧州の保険市場でクレディ・アグリコル・アシュアランスが培った専門知識を組み合わせることになります。欧州委員会は、2019 年 10 月 28 日に合弁会社の設立を承認しました。

更に、クレディ・アグリコル・コーポレート&インベストメント・バンクは、**バンク・オブ・サウジ・フランジ**（BSF）に対して保有する 10.9%を、リップルウッド率いるコンソーシアムとオラヤン・サウジ・インベストメント・カンパニーに売却する取引を完了しました。この売却は 2 段階で完了しました。すなわち、2019 年 4 月 29 日の 4.9%の初回売却と、初回売却分に付随する購入権の行使後の同年 11 月 21 日に行われた 6.0%の 2 回目の売却です。クレディ・アグリコル CIB は、2019 年 12 月 31 日時点で BSF の 4.0%の株式資本を保有しています。

業績

特殊要因は、当四半期の純利益グループ帰属分に **3 億 4,300 万ユーロ（純額）のプラス影響**を及ぼしました。特殊要因に含まれるのは、エンポリキの証券に関する課税措置紛争に対するフランス国務院（Conseil d'Etat）の好ましい決定（+10 億 3,800 万ユーロ）、CACEIS によるサンタンデールと KAS バンクの統合と買収の費用（それぞれ営業費用の 1,500 万ユーロ/純利益グループ帰属分の-1,100 万ユーロとその他資産の純利益の-600 万ユーロ/純利益グループ帰属の-500 万ユーロ）、売却目的保有事業からの利益という項目の下での-4,600 万ユーロの再分類です。CACEIS による KAS バンクの買収で+2,200 万ユーロの負ののれんが生じ、また、LCL ののれんは-6 億 1,100 万ユーロの一部減損となりました。これには、純利益グループ帰属分に 4,400 万ユーロの限定的なマイナス影響を伴う、変動の大きい経常的な会計項目（DVA（債務評価調整。すなわち、当グループの発行体スプレッドの変動に関連する金融商品の損益）と、ヘッジされていない発行体スプレッドの変動に関連する資金調達評価調整（FVA）部分（総額-400 万ユーロ）、大口顧客部門のローンブック・ヘッジ（-1,100 万ユーロ）、住宅購入貯蓄プラン引当金の変動（-2,900 万ユーロ）が加わります。前年同期の特殊要因は、**純利益グループ帰属分に 5,900 万ユーロ（純額）の限定的な損失効果**をもたらし、その中には FCA バンクに対してイタリアの競争当局（AGCM）が課した 6,700 万ユーロの罰金が特に含まれます。その他の要素はそれほど重要ではありませんでした（-2,700 万ユーロ）。その内訳は、（純利益グループ帰属分に対して-1,400 万ユーロとなった）アムンディのパイオニア統合費用と（純利益グループ帰属分に対して-600 万ユーロとなった）イタリア 3 行の統合費用の 1,100 万ユーロですが、変動の大きい経常的な会計項目からの純利益グループ帰属分に対する+2,800 万ユーロの純利益（すなわち、DVA（債務評価調整、発行体スプレッドの変動に関連する金融商品の損益）が+1,100 万ユーロ、大口顧客部門のローンブック・ヘッジが+1,200 万ユーロ、住宅購入貯蓄プラン引当金の変動分が+500 万ユーロ）によって相殺されました。

各事業部門は、当四半期に力強い業績を達成しました。各事業部門[12]の**基礎純利益グループ帰属分**は 12.8%増加しました。この強力な伸びは、特に大口顧客部門とアセット・ギャザリング部門によって説明することができます。大口顧客部門は、資本市場がけん引する形で当四半期に非常に好調な業績を達成しました（30.1%増の 4 億 800 万ユーロ）。この部門のリスク関連費用の戻入れと資産運用サービス部門の新規提携事業の統合に伴う営業費用の増加にもかかわらず、大口顧客部門の寄与は増加しました。アセット・ギャザリング部門は、保険部門からの安定した寄与と

[12] *コーポレート・センターを除く。*

資産運用部門の高い収益性が示すように当四半期は好業績でした（13.8%増の 5 億 8,300 万ユーロ）。リテール・バンキング部門は、営業総利益が急増し（6.7%増の 5 億 2,500 万ユーロ）、また、CA イタリアでは引き続きリスク関連費用が減少しました。専門金融サービス部門は、適切な費用抑制が寄与して営業総利益が堅調でした（1.8%増の 3 億 4,100 万ユーロ）。

当四半期の**基礎収益**は、前年同期比 7.7%増の総額 51 億 8,400 万ユーロでした。この急成長は、全ての事業部門（特に当年度を通じて市況が好転した大口顧客部門）での活発な営業活動によるものでした。収益の増加はまた、アムンディの記録的な資金流入、好調なユニット・リンク型資産、フランス市場を上回る実績を記録した損害保険事業によりアセット・ギャザリング部門でも力強いものでした（10.4%増）。リテール・バンキング部門は、顧客獲得と事業の両面で引き続き成長しました。フランス国内外の低金利環境にもかかわらず、受取利息は増大しました。したがって、低金利環境下においてもボリューム効果は金利マージン（純額）の維持に貢献しました。コーポレート・センターを除く全ての事業部門の基礎収益は、当四半期に 8.4%増加しました。

このようなプラスの収益傾向は、**適切な費用抑制**を伴うものでした。当四半期の**基礎営業費用**は前年同期比 **2.2%増**に抑制され、これにより、+5.5 ポイントという非常に**大きなプラスの乖離効果**を実現しました。それでも、費用は各事業部門（特に営業活動が拡大している部門）で引き続き増加しました（2018 年度第４四半期から当四半期までで 3.3%増）。特にアセット・ギャザリング部門は、国際保険と企業損害保険のプロジェクト開発を反映して費用が増加しました（この影響は、前年同期と比べた保険への基礎的影響によって累積的なものとなっています）。資産運用部門の費用増加は、（堅調な業績に関連する）変動報酬の増加と、戦略的プロジェクトにかかわる一度限りの費用によって説明できます。大口顧客部門は、法人営業及び投資銀行部門でコスト比率が急速に改善しました（当四半期で 9.1 ポイント減）。また、資産運用サービス部門は近年の提携事業と顧客獲得を支える投資を行いました（FTE と IT の費用）。リテール・バンキング部門は、プラスの乖離効果により、2019 年度第 4 四半期に LCL（当四半期と当年度が共に 1.7 ポイント減）と CA イタリア（当四半期が 0.7 ポイント減、当年度が 0.5 ポイント減）でコスト比率を改善しました。専門金融サービス部門は、当四半期を通じて適切に費用を抑制しました。当四半期のクレディ・アグリコル S.A.の**基礎コスト比率**は、3.4 ポイント**改善**して 62.6%でした。

したがって、当四半期の**基礎営業総利益**は前年同期比 **18.3%増**と力強い伸びとなりました。

当四半期の**リスク関連費用**は、前年同期の 2 億 4,600 万ユーロに対して 38.0%増/9,400 万ユーロ増の 3 億 4,000 万ユーロでした。これは、法人営業及び投資銀行部門の信用リスク関連費用が正常水準まで回復したことが主な要因です。同部門は、前年同期に+2,800 万ユーロの引当金戻入れ（純額）を計上したものの、当四半期は-5,500 万ユーロ（純額。すなわち-8,300 万ユーロの変動）の引当金（純額）を計上しました。同じ理由から、**当四半期は、連結残高に対するリスク関連費用**[13]が正常水準に戻りました。これは、2018 年度第 4 四半期と比べて 9 ベーシス・ポイント増、前四半期比で 3 ベーシス・ポイント増の **32 ベーシス・ポイント**でした（但し、低水準を維持しています）。リスク関連費用に最も寄与した他の 3 部門は、非常に限定的ではありますが、対照的な動きを見せています。すなわち、LCL のリスク関連費用は 2.7%増の 6,400 万ユーロでしたが、残高に対するリスク関連費用は 17 ベーシス・ポイント（前四半期比で横ばい）と低水準を維持しました。CA イタリアは、残高に対するリスク関連費用が引き続き改善して 4.0%減の 57 ベーシス・ポイントでした（前年同期は 67 ポイント、前四半期は 59 ポイント）。最後に、クレディ・アグリコル・コンシューマー・ファイナンスのリスク関連費用は、前年同期比 40.6%増の 1 億 1,500 万ユーロで、残高に対するリスク関連費用も 128 ベーシス・ポイントまで上昇しました。但し、これは 120～130 ベーシス・ポイントの範囲内にあり、中期計画の 160 ベーシス・ポイントという想定を大きく下回ります。

---

[13] 過去のローリング 4 四半期を対象とした貸倒引当金の年換算平均。

当四半期の**持分法適用会社**の寄与分は、特に資産運用分野の合弁事業の好業績（インドが寄与）を反映して **2.6%増**の 7,600 万ユーロでした。

当四半期の**他の資産に関する純利益**は、ウェルス・マネジメント部門の一度限りの不動産取引の結果、**2,000 万ユーロ**でした。したがって、**非継続事業と非支配持分の控除前の税引前基礎利益**[14]は **17.1%増**の 16 億 9,700 万ユーロでした。**基礎的実効税率**は、特に当四半期のクレディ・アグリコル CIB の税金紛争で有利な決定が下された結果、2018 年度第 4 四半期と比べて 2.6 ポイント減の **13.5%**でした。これにより、基礎税金費用は 1.0%減の 2 億 1,900 万ユーロでした。実効税率は、四半期ベースの代表的な数字ではなく、（2018 年度の 23.8%に対して）2019 年末時点では 24.4%でした。**少数株主持分控除前の基礎純利益は 20.3%増加しました。**

非支配持分に帰せられる純利益は、**0.6%減**の 1 億 6,100 万ユーロと横ばいでした。

当四半期の**基礎純利益グループ帰属分**は、前年同期比 23.5%増の **13 億 1,800 万ユーロ**でした。

2019 年度通年の表示純利益グループ帰属分は、前年同期の 44 億ユーロから 10.1%増の 48 億 4,400 万ユーロでした。

2019 年度の特殊要因は、表示純利益グループ帰属分に 2 億 6,200 万ユーロのプラス影響を与えました。上述した当四半期の特殊要因に加えて、2019 年度 9 カ月累計期間の特殊要因は、**表示純利益グループ帰属分に 8,100 万ユーロの限定的なマイナス影響**を及ぼしました。この中には、変動の大きい経常的な会計項目（債務評価調整（DVA。発行体スプレッドの変動に関連する金融商品の損益）と、ヘッジされていない発行体スプレッドの変動に関連する資金調達評価調整（FVA）部分（-1,100 万ユーロ）、大口顧客部門のローンブック・ヘッジ（-2,000 万ユーロ）、住宅購入貯蓄プラン引当金の変動（-5,000 万ユーロ）が含まれます。**2018 年度の特殊要因**は、純利益グループ帰属分に **500 万ユーロ**の限定的なマイナス影響を及ぼしました。上述した 2018 年度第 4 四半期の特殊要因と比べて、これらの特殊要因は、2018 年度 9 カ月累計期間に 5,400 万ユーロのプラス影響を与えました（すなわち、イタリアの貯蓄銀行 3 行を取得したときに計上した負ののれんの金額調整（総額+6,600 万ユーロ）、パイオニア・インベストメンツの統合費用の 1,400 万ユーロ（税引前及び非支配持分控除前で 3,000 万ユーロ）、イタリアの 3 行の統合費用の 500 万ユーロ（税引前及び非支配持分控除前で 900 万ユーロ）、ECB の罰金の 500 万ユーロ、及び経常的な特殊要因（すなわち、DVA が+500 万ユーロ、大口顧客部門のローンブック・ヘッジが+400 万ユーロ、及び住宅購入貯蓄プラン引当金の変動分が-700 万ユーロ）。

これらの特殊要因を除いた当年度の**基礎純利益グループ帰属分**は、前年比 4.0%増の **45 億 8,200 万ユーロ**でした。

当年度の 1 株当たりの**基礎的利益は、前年比 0.1%増の 1.39 ユーロ**でしたが、当年度第 3 四半期の AT1 クーポンへの為替の影響を除くと 2.9%増でした。

追加ティア 1 債券の年次クーポンを除いた年換算 **ROTE**[15]（無形資産を除いた株主資本グループ帰属分利益率）は、**当年度**については前年度（12.7%）を下回る **11.9%**でした。

---

[14] クレディ・アグリコル S.A.に関連する特殊要因の詳細については 21 ページを参照。
[15] 各事業部門の ROTE（有形株主資本利益率）及び RONE（調整株主資本利益率）の計算の詳細については 31 ページを参照。

クレディ・アグリコル S.A. ― 表示実績と基礎的実績（2019 年度と 2018 年度）

In €m	2019 stated	2018 stated	Var 19/18 stated	2019 underlying	2018 underlying	Var 19/18 underlying
Revenues	**20,153**	**19,736**	+2.1%	**20,339**	**19,694**	+3.3%
Operating expenses excl.SRF	(12,421)	(12,286)	+1.1%	(12,405)	(12,227)	+1.5%
SRF	(340)	(302)	+12.5%	(340)	(302)	+12.5%
Gross operating income	**7,392**	**7,147**	**+3.4%**	**7,594**	**7,165**	**+6.0%**
Cost of risk	(1,256)	(1,002)	+25.5%	(1,256)	(1,002)	+25.5%
Cost of legal risk	-	(80)	(100.0%)	-	(75)	(100.0%)
Equity-accounted entities	352	256	+37.6%	352	323	+9.0%
Net income on other assets	54	89	(39.5%)	60	89	(32.5%)
Change in value of goodwill	(589)	86	ns	-	-	ns
Income before tax	**5,952**	**6,496**	**(8.4%)**	**6,749**	**6,500**	**+3.8%**
Tax	(456)	(1,466)	(68.9%)	(1,559)	(1,471)	+6.0%
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	(38)	(3)	ns	8	(3)	ns
Net income	**5,458**	**5,027**	**+8.6%**	**5,198**	**5,026**	**+3.4%**
Non controlling interests	(614)	(627)	(2.1%)	(616)	(620)	(0.7%)
Net income Group Share	**4,844**	**4,400**	**+10.1%**	**4,582**	**4,405**	**+4.0%**
Earnings per share (€)	**1.48**	**1.39**	**+6.9%**	**1.39**	**1.39**	**+0.1%**
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	**61.6%**	**62.3%**	**-0.6 pp**	**61.0%**	**62.1%**	**-1.1 pp**

当年度の各事業部門の業績は、リスク関連費用が正常水準に回復しながらも、全ての部門での活動拡大と費用増大の抑制（1.8 ポイントのプラスの乖離効果）が寄与して 4.0%増でした。コーポレート・センターのマイナスの業績（前年の-7 億 3,100 万ユーロに対して-8 億 1,300 万ユーロ）は、クレディ・アグリコル S.A.のコーポレート・センターの活動と機能による寄与拡大を主な要因として、当年度は「構造的」寄与分が 7,200 万ユーロ改善して-8 億 8,100 万ユーロでした。同時に、他の項目は当年度通年では 6,800 万ユーロのプラスの寄与となり、前年（+2 億 2,200 万ユーロ）と比べて明らかに減少しました。

当年度の**基礎収益**は、専門金融サービス部門を除く全ての事業部門の成長にプラスに寄与して、前年比 3.3%**増**でした。消費者金融の環境は、当年度を通じてフランスで最も競争圧力の高いものとなり、また、自動車ローン提携事業が非常に好調だったのは、持分法を適用したためです。リースとファクタリングの部門は、非常に力強い事業推移に支えられて収益が増大しました。大口顧客部門の収益は急増しました（6.5%増）。これは、当年度に市況が好転したことで、全ての事業部門で販売が好調に推移したためです。

当年度の**基礎営業費用**は、SRF 拠出金を除くと **1.5%増**でした。この費用抑制は、当年度に 1.8 ポイントの**プラスの乖離効果**につながりました。事業部門だけを見ると、営業費用は 2.0%増で、これは、事業開発に関連する費用が増加したアセット・ギャザリング部門と大口顧客部門に主に集中していました。**SRF を除いた当年度の基礎コスト比率**は、第 1 四半期の IFRIC 第 21 号に関連する費用を含めて **61.0%となり**、これは前年比で 1.1 ポイントの改善でした。

最後に、当年度の**信用リスク関連費用**は、前年比 25.5%増/2 億 5,400 万ユーロ増の 12 億 5,600 万ユーロでした。この増加の主な要因は、（2018 年 12 月末時点の 6,400 万ユーロの戻入れ（純額）に対して 2019 年 12 月末時点では 1 億 6,000 万ユーロのリスク費用を計上した）大口顧客部門と、当年度に計上されたリスク関連費用の正常水準への段階的回復と一度限りの引当金に由来するファイナンス事業です。

財務面の堅牢性

2019 年 12 月末時点のクレディ・アグリコル S.A.のソルベンシーは、**普通株式ティア 1（CET1）レシオが 2019 年 9 月末時点と比べて 0.4 ポイント増の 12.1%**となったことで高い水準を維持しています。この増加は、エンポリキの証券投資に関する課税措置紛争の好ましい結果に関連する 32 ベーシス・ポイントの大きなプラス影響（10 億 3,800 万ユーロの利益創出）によって明確に説明できます。この利益は、早ければ 2020 年度第 1 四半期の Switch 保証の 35%の一部解除のための資金手当てとして全額割り当てられます（CET1 レシオに対しておよそ 40 ベーシス・ポイントのマイナス影響になる見込み）。この影響を除いた CET1 レシオは、当四半期もほぼ安定を維持しました。すなわち、資本生成（当四半期の 0.23 ユーロの配当引当金（これにより 2019 年度の配当金は 0.70 ユーロ）を含めて+16 ベーシス・ポイントと金利が上昇する中で OCI 準備金の減少（-10 ベーシス・ポイント）を補ったリスク・ウェイト資産の大幅減（+18 ベーシス・ポイント）、及び他の影響（CACEIS とサンタンデールの合併が-5 ベーシス・ポイント、BSF 株の追加売却が+8 ベーシス・ポイント、規制上の影響が-8 ベーシス・ポイント）です。

2019 年 12 月末時点のリスク・ウェイト資産は総額 3,240 億ユーロで、当四半期は急減しました（66 億ユーロ減/2.0%減）。特に顕著な理由は、法人営業及び投資銀行部門での証券化取引と保険投資の持分法適用価額の低下です（31 億ユーロ減）。

段階適用**レバレッジ・レシオ**は、2019 年 12 月末時点で **4.2%**でした。当四半期中の平均段階適用**レバレッジ・レシオ**[16]は 3.9%でした。

クレディ・アグリコル S.A.の過去 12 カ月間の平均 LCR（流動性カバレッジ比率）は、2019 年 12 月末時点で 131.6%[17]となり、中期計画に定めるおよそ 110%という目標水準を上回っています。

2019 年 12 月末現在、クレディ・アグリコル S.A.は当年度の中・長期市場資金調達プログラムの 97%を完了しました。当行は 164 億ユーロ相当額を調達し、このうち 101 億ユーロ相当額が優先シニア債と担保付きシニア債、45 億ユーロ相当額が非優先シニア債、18 億ユーロ相当額がティア 2 債券でした。2020 年度のプログラムは、およそ 50 億～60 億ユーロの TLAC 適格債（ティア 2 債券又は非優先シニア債）を含めて 120 億ユーロに設定されています。2020 年 1 月末現在、資金調達計画の 22%が完了しました。

クレディ・アグリコル S.A.が 2019 年度に以下のことを実施したことにご注意ください。

- 10 億ユーロ規模の非優先シニアグリーンボンド発行（上記の金額を含む）
- 12 億 5,000 万ユーロの CAHL SFH 担保付きシニアグリーンボンド発行（上記の金額を含む）
- 10 億人民元の優先シニアパンダ債発行（上記の金額を含む）

11 億ユーロ相当額の AT1 債券も 2019 年 2 月に発行されました（資金調達計画には含まれず）。

* *

*

[16] 四半期中のレバレッジとは、当該四半期の最初の 2 カ月間の月末エクスポージャーの平均を意味する。
[17] この比率の分子と分母は、クレディ・アグリコル S.A.についてはそれぞれ 1,893 億ユーロ、1,438 億ユーロとなった。

フィリップ・ブラサック最高経営責任者は、2019 年度第 4 四半期及び当年度通年のクレディ・アグリコル S.A.の業績と事業活動について「*クレディ・アグリコル S.A.の基礎純利益は、当四半期が 23.5%増、当年度が 4.0%増となりました。今年度のフランスとイタリアでの 37 万人の個人客とアントレプレナー客の純増につながった活発な営業活動と有機的成長の可能性を実証した当グループ内での 90 億ユーロに及ぶ収益面の相乗効果が寄与して、全ての事業部門が当年度の成長に貢献しました。最後に、クレディ・アグリコル S.A.の全ての事業部門（特に資産運用部門、資産運用サービス部門、消費者金融部門）は、フランス、イタリア、スペインでの提携事業の調印や強化によって欧州での統合に積極的に関与しています。われわれの収益性の伸びは堅調です。これは、われわれの事業部門の開発投資を妨げることなく、収益の勢いと同様に営業効率の改善も原動力となっています。これはまた、リスク・ウェイト資産を抑制し、リスク関連費用を低い水準に維持することで実現されました。われわれの財務面の堅牢性は引き続き強化されています。クレディ・アグリコル S.A.の CET1 レシオは 12.1%に達し、2020 年度の Switch の初回解除が可能になり、また現金で 50%という配当方針を確実なものにしています。2019 年度の配当は 1.4%増の 1 株当たり 0.70 ユーロとなり、これは、われわれの配当方針の性向と規則性を証明しています*」とコメントしました。

クレディ・アグリコル・グループ

クレディ・アグリコル・グループの当四半期の基礎純利益グループ帰属分は、前年同期比 22.1%増の 19 億 8,600 万ユーロでした。当グループの 2019 年度通年の基礎純利益グループ帰属分は、前年度と比べて 5.0%増の 71 億 9,100 万ユーロでした。

当年度の当グループの業績は、当グループのプロジェクトの 3 つの柱を実施することで築かれました。顧客プロジェクトに関しては、LCL と地域銀行の顧客ネットプロモータースコアが上昇し（それぞれ 8 ポイントと 5 ポイント）、革新的商品が発売され（EKO、LCL Essentiel、Je suis entrepreneur、Yapla）、関係のデジタル化が強化され、Trajectoires Patrimoine の一環として 50 万人の顧客と接触しました。当年度中の顧客獲得は、フランスとイタリアで個人客とアントレプレナー客を合わせて 180 万人となり、顧客獲得の純増は 37 万人でした。人間主体のプロジェクトに関して、「フィナンシャルタイムズ」紙は、クレディ・アグリコル・グループをダイバーシティの面でフランスの金融サービス部門第 1 位に選定しました。最後に社会プロジェクトでは、クレディ・アグリコル S.A.は 2019 年 10 月に 10 億ユーロ規模のグリーンボンドを発行し、また、クレディ・アグリコル・ホーム・ローン SFH は同年 11 月に 12 億 5,000 万ユーロ規模のグリーンカバードボンドを発行しました。

地域銀行の純利益グループ帰属分に対する寄与は、当四半期に 26.6%増加しました。地域銀行の基礎収益も5.7%**増加しました。基礎営業費用**は、当グループのプロジェクトと中期計画に基づく IT 投資の継続に伴い前年同期比 1.8%増でした。基礎コスト比率は前年同期と比べて改善して 2.6 ポイント減の 66.7%でした。

当年度の当グループの基礎収益は、前年比 3.0%増の 337 億 9,000 万ユーロでした。これは、特に専門事業部門と販売ネットワークの収益面の相乗効果が寄与して、安定的且つ多様で、全ての事業部門で有機的成長をもたらす顧客重視型ユニバーサル銀行モデルの強みを反映しています。SRF を除いた基礎営業費用は、地域銀行の IT 投資とクレディ・アグリコル S.A.の各事業部門（特にアセット・ギャザリング部門）の開発投資を組み入れながらも、十分に抑制されました（当年度は 1.7%増）。当年度の乖離効果は 1.3 ポイントのプラスでした。SRF を除いた当年度の基礎コスト比率は、当グループの高い水準の営業効率を反映して、前年度から 0.8 ポイント減の 63.2%でした。

地域銀行の残高に対する信用リスク関連費用は、引き続き低水準にあります（2018 年末時点の 14 ベーシス・ポイント以降は 10 ベーシス・ポイント）。更に、**NPL レシオは**低下し（2018 年末時点の 2%に対して 1.87%）、**NPL 引当率**は高い水準を維持しました（99.1%）。**当年度における当グループの信用リスク関連費用は、法人営業及び投資銀行部門のリスク関連費用の戻入れの結果、7.1%増となりましたが、引き続き非常に低い水準にあり、引当率は 82.6%でした。**

当グループの普通株式ティア 1 レシオは、2019 年 9 月末時点と比べて同年 12 月末時点では 0.4 ポイント増の 15.9%でした。これは、規制により義務付けられる水準を 6.2 ポイント上回っています[18]。

当グループの実績は、自らの*存在意義*「われわれの顧客と社会のために日々仕事に取り組む」に基づく当グループのプロジェクトの 3 つの柱（顧客プロジェクト、人間主体のプロジェクト、社会プロジェクト）を実施することによって特に説明できます。

顧客プロジェクト

当グループは、2019 年 6 月に発足した当グループのプロジェクトと MTP の実施に乗り出しました。顧客プロジェクトの要となる**卓越した顧客関係**を促進するため、具体的な行動を開始しました。当グループの全ての事業部門は、個人

[18] *9.7%の SREP 要件（カウンターシクリカル・バッファーを含む）の下では、販売制限基準を上回る 320 億ユーロ。*

客部門においてLCLが+8、地域銀行が+5と2018年末から大幅に上昇したネットプロモータースコア（NPS）から明らかなように顧客満足度を引き上げるために組織されました。クレディ・アグリコル・アシュアランスも、「Que Choisir」誌の2020年1月号により自動車保険と住宅保険の請求管理で第1位にランクされました。困りごとの解決と流動的なカスタマージャーニーの創出に向けて全ての事業部門で70 Customer Champions（顧客の声）の指定を受けたグループ各社では、無欠陥文化が植え付けられています。困りごとへの対応計画は既に実施されており、25 の優先行動が特定されています。最後に、当グループは、それぞれのニーズに合わせた革新的商品を提案することで引き続き顧客をサポートします。これは「*Trajectoires Patrimoine*」に表れています。助言を行うためのこの新たな手法は、顧客の資産についてグローバルでダイナミックな視点を提供し、その資産を拡大し、最初の取引から保護する上で考え得る最善の選択肢をとることを可能にします。2019年初頭のこの手法の導入以降、50万人を超える顧客がこの施策の一環としてサポートされました。

当グループは、**有力なデジタルバンク**となるため、自らの商品を今後も新たな用途に合わせていきます。12万7,000人を超える顧客が「EKO」に加入しており、クレディ・アグリコルの最初のバンキング提案は2017年末に始まりました。都市部の若年労働者の個別ニーズを満たす「LCL Essentiel」は2019年4月に発売され、20万人を超える顧客を獲得しました。2020年2月に発売された18～30歳の旅行好きの若年層向けのグローブトロッター商品など、テーラーメイド型の新商品が今後も投入される予定です。マルチチャネルの関係も強化され、地域銀行で契約した顧客数が増加しています（2018年以降で1.9ポイント増）。同様に当グループのモバイルアプリを利用する顧客数は、2018年末以降でLCLモバイルアプリが6ポイント増、「MaBanque」アプリが4ポイント増となりました。LCLモバイルアプリは、3年連続でmeilleurebanque.comの比較サイトで最優秀モバイルアプリに投票されており、クレディ・アグリコルのデジタル化の成果は、自らのデジタル変革の下で格付けがDからBBBに上昇して称えられました。

イノベーションは、最終的にはクレディ・アグリコルの戦略の要となります。CAのVillagesが現在支援しているスタートアップは547社です（このネットワークは現在、フランスとイタリアでCAの33のVillagesで構成されており、2019年には新たに4つのVillagesが創設されました）。「La Fabrique BY CA」（当グループのフィンテック・スタートアップ・スタジオ）も2019年に2つのプラットフォームを立ち上げ、幅広いバンキングサービス及び非バンキングサービスを提供しています（資金調達シミュレーションを含めて立地選定から確実な事業計画まで幅広く対応する会社設立のためのJe suis entrepreneurと、組合の管理に特化したYapla）。

こうした状況下で、当グループの顧客獲得はフランスとイタリアで非常に活発に行われ、2019年度は180万人の新規の個人客とアントレプレナー[19]客ならびに37万人の顧客純増（このうち28万人が個人客）となりました。

人間主体のプロジェクト

当グループの人間主体のプロジェクトの一部として、説明責任を拡大するために**経営側の変革を進めています**。2020年1月現在、クレディ・アグリコルS.A.の管理職者の53%は、経営変革の研修を受けました。CAイタリアとアムンディでは、全方位（180°）評価体制が設置されました。**より迅速な意思決定チェーン**を導入し、従業員の関与と自律性を高め、顧客との距離を更に縮めるため、クレディ・アグリコル・ペイメント・サービシズの管理職者数が削減されました。2019年末までに、当グループの子会社の80%で「遠隔勤務」協定が開始されました。

社会対話を強化するため、最初の具体的施策（フランス国外の全ての女性従業員を対象とした16週間の有給出産休暇）として、7月31日に国際枠組み協定が署名されました。2019年末時点でクレディ・アグリコルS.A.の経営委員会に占める女性の比率が23.5%（前年比17ポイント増）、クレディ・アグリコルS.A.の子会社の意思決定機関に占める女性の比率が28%（同5ポイント増）になったことで、当グループのジェンダー・**ダイバーシティ**方針も今年拡充され

[19] *LCL/CA イタリア：個人事業主を含む－地域銀行：個人事業主、農家、スモール・ビジネス、組合を含む。*

ました。最後に、社会の多様性の面でクレディ・アグリコル S.A.グループの全子会社が、仕事経験のプログラムで 10 年次の学童 300 人を歓迎しました。

これらの施策は **VIGEO** によって認められ、VIGEO は、2019 年のクレディ・アグリコルの格付けを引き上げました。このことは、当グループが欧州で最も魅力的な企業の 1 つであることを示唆しています。A1 にランクされた当グループは、VIGEO が評価した 5,000 社の上位 2%に位置付けられ、銀行業界の 31 行中第 4 位となっています。最後に、クレディ・アグリコル・グループは、「**フィナンシャルタイムズ**」紙のダイバーシティ・リーダーズ 2020 のランキングで、ダイバーシティの面でフランスの金融サービス部門第 1 位にランクされました。

社会プロジェクト

ガバナンス

当グループの気候戦略の一環として、科学委員会の設置が最終段階にあります。グループ外の気候専門家と科学者を集めたこの委員会は、当グループの気候戦略の指針とし、実施するのに必要な科学的作業の実施を担当します。これは、企業プロジェクト委員会の決定に取り入れられます。

今年実施された事業転換格付けの一環として、クレディ・アグリコルは、資産の所在場所に応じて 2030/2040 年の時間枠で、採鉱業と一般炭採掘の資産からの撤退について 2021 年までに詳細な計画書を提供するよう大口アントレプレナー客に要請します。対話と意思決定の手段として、この事業転換格付けは、金融格付けを補い、顧客分析ファイルの内容を充実させます。事業転換格付けの統合により、われわれは、気候変動が金融ポートフォリオに与える潜在的影響をより正確に特定し、他のシナリオと合わせて 2050 年に向けた気候ストレステストを作成することができます。

持続可能な金融

Unifergie（クレディ・アグリコル・リーシング&ファクタリングの子会社）、「Nord de France」地域銀行、及びクレディ・アグリコル CIB は、北米と欧州で再生可能エネルギー発電施設を開発、建設、運転するカナダ企業のボラレックスのフランスでの発電施設ポートフォリオのリファイナンスに参加しました。その設備のおよそ半分はフランス国内のウインドファームにあります。ボラレックスは、57 カ所のウインドファームと 2 カ所の太陽光発電所のリファイナンスのほか、向こう 2 年間での 4 カ所のウインドファームの追加建設を伴う事業を行いました。合計設備容量は 1,041MW で、これは 50 万世帯の年間消費量に相当します。総額で 11 億ユーロを超えるこの取引は、フランスの再生可能エネルギー資産のポートフォリオのリファイナンスでは最大規模です。

クレディ・アグリコル・ホーム・ローン SFH（クレディ・アグリコル S.A.が完全所有する住宅ローン子会社）は、10 年間で総額 12 億 5,000 万ユーロのグリーンカバードボンドを発行しました。この資金は、炭素排出量を削減する省エネ住宅向けに実行される地域銀行と LCL のローンのリファイナンスに割り当てられます。この初めてのグリーンボンド発行は、エネルギー転換への融資に特化した資本市場で当グループの存在感を高めると共に、低エネルギー住宅の促進で地域銀行と LCL が果たす役割を明確にしています。

LCL は、地球温暖化への取り組みで初めてフルレンジの投資を実施しました。これを構成するのは、カーボン・オフセット制度によって強化された CO2 排出量削減企業の株式資金又は債券資金です。

クレディ・アグリコル S.A.は、名目規模が 10 億ユーロで満期が 6 年のグリーンボンドを 2019 年 10 月に発行しました。

更に、クレディ・アグリコル CIB は、2019 年に 429 億ユーロを超えるグリーンボンドのストラクチャリングを行いました。

インクルーシブ・ファイナンス

クレディ・アグリコル CIB は、2019 年に総額で 37 億ユーロを超えるソーシャルボンドのストラクチャリングに参加することで、ソーシャルボンドのアレンジメントにおいて世界レベルで主導的役割を果たしました。これは、欧州の発行体市場の 30%超、場合によっては 40%超となる市場シェアに相当します（出典：Dealogic）。

アムンディは、Amundi Finance et Solidarité の団結基金の貸付残高を向こう 3 年間で 2 倍にするという 2018 年に定めた目標を追求しています。同時に、この事業は欧州でも同様の提案を行う道を開いています。この目的は、クレディ・アグリコル・グループとアムンディの存在感が特に大きい欧州諸国の社会的企業に対して将来ビークルを提供できるようにすることです。

当グループの実績

当四半期のクレディ・アグリコル・グループの**表示純利益グループ帰属分**は、前年同期の 15 億 7,100 万ユーロに対して **21 億 8,600 万ユーロ**でした。当四半期の**特殊要因**は、純利益グループ帰属分に **2 億ユーロ（純額）のプラス影響をもたらしました。**

これらの特殊要因を除いた当四半期の**基礎純利益グループ帰属分**[20]は、前年同期比 22.1%増の **19 億 8,600 万ユーロ**でした。

クレディ・アグリコル・グループ ― 表示実績と基礎的実績（2019 年度第 4 四半期と 2018 年度第 4 四半期）

In €m	Q4-19 stated	Q4-18 stated	Var Q4/Q4 stated	Q4-19 underlying	Q4-18 underlying	Var Q4/Q4 underlying
Revenues	**8,399**	**8,110**	+3.6%	**8,602**	**8,064**	+6.7%
Operating expenses excl.SRF	(5,582)	(5,478)	+1.9%	(5,566)	(5,440)	+2.3%
SRF	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Gross operating income	**2,818**	**2,632**	**+7.1%**	**3,035**	**2,624**	**+15.7%**
Cost of risk	(494)	(499)	(1.0%)	(494)	(499)	(1.0%)
Cost of legal risk	-	(75)	(100.0%)	-	(75)	(100.0%)
Equity-accounted entities	83	10	x 8	83	77	+7.5%
Net income on other assets	15	48	(69.2%)	21	48	(56.1%)
Change in value of goodwill	(642)	-	n.m.	-	-	n.m.
Income before tax	**1,780**	**2,116**	**(15.9%)**	**2,646**	**2,175**	**+21.6%**
Tax	587	(416)	n.m.	(525)	(412)	+27.4%
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	(46)	(0)	x 1768.1	(0)	(0)	x 8.1
Net income	**2,320**	**1,700**	**+36.5%**	**2,120**	**1,763**	**+20.3%**
Non controlling interests	(134)	(130)	+3.7%	(134)	(137)	(2.1%)
Net income Group Share	**2,186**	**1,571**	**+39.2%**	**1,986**	**1,626**	**+22.1%**
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	**66.5%**	**67.5%**	**-1.1 pp**	**64.7%**	**67.5%**	**-2.7 pp**

当四半期の**基礎収益**は、前年同期比 **6.7%増**の 86 億 200 万ユーロでした（コーポレート・センターを除いた各事業部門については 7.3%増）。この伸びは、大口顧客部門の基礎収益（20.7%増/2 億 4,400 万ユーロ増）、地域銀行の基礎収益（5.7%増/1 億 8,500 万ユーロ増）、及びアセット・ギャザリング部門の基礎収益（10.4%増/1 億 5,300 万ユーロ増）によってけん引されました。専門金融サービス部門の基礎収益は 2.6%減/1,800 万ユーロ減でしたが、自動車ローン提携事業の業績は持分法の適用によるものであることに留意してください。国際リテール・バンキング部門の基礎

[20] *特殊要因を除いた基礎的なもの（特殊要因の詳細については 21 ページ以降を参照）。*

収益は 1.3%増でした。

当四半期の**基礎営業費用**は、中期計画に基づく地域銀行の IT 投資とクレディ・アグリコル S.A.の各事業部門（特にアセット・ギャザリング部門と大口顧客部門）の開発投資に関連して、前年同期比 **2.3%増**でした。**SRF を除いた当四半期の基礎コスト比率**は、前年同期から **2.7 ポイント改善して 64.7%**でした。営業効率は引き続き改善しており、4.4 ポイントという大きなプラスの乖離効果が生じました。

したがって、当四半期の**基礎営業総利益**は前年同期比 15.7%増の 30 億 3,500 万ユーロでした。

当四半期の**信用リスク関連費用**は、前年同期の 4 億 9,900 万ユーロに対して 1.0%減の 4 億 9,400 万ユーロで安定的でした。この変動は、前年同期に計上された+2,600 万ユーロの戻入れ（純額）に対して信用リスク関連費用が正常水準に戻りつつある大口顧客部門に主に帰せられます（5,500 万ユーロの費用（純額））。クレディ・アグリコル・グループの**残高に対するリスク関連費用**[21]は、前年同期比 2 ベーシス・ポイント増の **20 ベーシス・ポイント**でしたが、25 ベーシス・ポイントという中期計画の想定を依然として下回っています。

資産運用合弁事業（特にインド）の好業績を受けて 7,700 万ユーロから 7.5%増の 8,300 万ユーロとなった持分法適用会社の寄与分を組み入れると、当四半期の**税引前基礎利益**は、前年同期比 21.6%増の **26 億 4,600 万ユーロ**でした。

当四半期の**基礎税金費用**は、基礎税率が 19.6%から 20.5%へと 0.9 ポイントの上昇となり、前年同期比で **27.4%増加**しました。したがって、非支配持分控除前の基礎純利益は前年同期比 20.3%増、また、基礎純利益グループ帰属分は同 22.1%増でした。

当四半期の特殊要因は、純利益グループ帰属分に 2 億ユーロ（純額）のプラス影響を及ぼしました。特殊要因には、エンポリキの証券に関する課税措置紛争に対するフランス国務院（Conseil d'Etat）の好ましい決定（+10 億 3,800 万ユーロ）、CACEIS によるサンタンデールと KAS バンクの統合と買収の費用（それぞれ営業費用の 1,500 万ユーロ/純利益グループ帰属分の-1,100 万ユーロとその他資産の純利益の-600 万ユーロ/純利益グループ帰属の-500 万ユーロ）、売却目的保有事業からの利益という項目の下での-4,600 万ユーロの再分類が含まれます。CACEIS による KAS バンクの買収で+2,200 万ユーロの負ののれんが生じ、また、LCL ののれんは-6 億 6,400 万ユーロの一部減損となりました。最後に、変動の大きい経常的な会計項目（債務評価調整（DVA。当グループの発行体スプレッドの変動に関連する金融商品の損益で、純利益グループ帰属分の-400 万ユーロ）、大口顧客部門のローンブック・ヘッジ（-1,200 万ユーロ）、及び住宅購入貯蓄プラン引当金の変動（-1 億 1,900 万ユーロ）も含まれる予定です。

2018 年度第 4 四半期の特殊要因は、純利益グループ帰属分に 5,500 万ユーロのマイナス影響を及ぼしました。この中には、パイオニア・インベストメンツの統合費用の 1,400 万ユーロ（税引前及び非支配持分控除前で 2,700 万ユーロ）、イタリア 3 行の統合費用の 700 万ユーロ（税引前及び非支配持分控除前で 1,100 万ユーロ）、FCA バンクの罰金の 6,700 万ユーロ、そして変動の大きい経常的な会計項目からの+3,300 万ユーロの純利益グループ帰属分（DVA の 1,100 万ユーロ、大口顧客部門のローンブック・ヘッジの 1,300 万ユーロ、及び住宅購入貯蓄プラン引当金の変動分の 900 万ユーロ）が含まれます。

当年度通年の基礎純利益グループ帰属分は、前年比 **5.0%増/3 億 4,200 万ユーロ増の 71 億 9,100 万ユーロ**でした。信用リスク関連費用の増加（1 億 1,700 万ユーロ）は、法人営業及び投資銀行部門のリスク関連費用の正常水準への回復に帰せられます。税金費用の増加（2 億 200 万ユーロ）は、営業総利益の力強い伸び（5 億 7,500 万ユーロ）

---

[21] 過去のローリング 4 四半期を対象とした年換算平均貸倒引当金。

を引き続き下回りました。

基礎**収益**は 3.0%増となり、また、**単一破綻処理基金(SRF)を除いた基礎営業費用**は **1.7%**増と引き続き厳格に抑制されています。これにより、当グループは当年度に 1.3 ポイントのプラスの乖離効果を記録しました。

クレディ・アグリコル・グループ ― 表示実績と基礎的実績(2019 年度と 2018 年度)

In €m	2019 stated	2018 stated	Var 19/18 stated	2019 underlying	2018 underlying	Var 19/18 underlying
Revenues	**33,297**	**32,839**	+1.4%	**33,790**	**32,813**	+3.0%
Operating expenses excl.SRF	(21,386)	(21,064)	+1.5%	(21,371)	(21,005)	+1.7%
SRF	(426)	(389)	+9.4%	(426)	(389)	+9.4%
Gross operating income	**11,485**	**11,385**	**+0.9%**	**11,993**	**11,418**	**+5.0%**
Cost of risk	(1,757)	(1,640)	+7.1%	(1,757)	(1,640)	+7.1%
Cost of legal risk	-	(80)	(100.0%)	-	(75)	(100.0%)
Equity-accounted entities	356	266	+33.9%	356	333	+7.0%
Net income on other assets	36	87	(59.0%)	42	87	(51.8%)
Change in value of goodwill	(642)	86	n.m.	-	-	n.m.
Income before tax	**9,478**	**10,105**	**(6.2%)**	**10,634**	**10,123**	**+5.0%**
Tax	(1,737)	(2,733)	(36.5%)	(2,945)	(2,743)	+7.4%
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	(38)	(3)	n.m.	8	(3)	n.m.
Net income	**7,704**	**7,369**	**+4.5%**	**7,697**	**7,377**	**+4.3%**
Non controlling interests	(506)	(525)	(3.5%)	(506)	(527)	(4.0%)
Net income Group Share	**7,198**	**6,844**	**+5.2%**	**7,191**	**6,849**	**+5.0%**
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	**64.2%**	**64.1%**	**+0.1 pp**	**63.2%**	**64.0%**	**-0.8 pp**

地域銀行

2019 年 12 月末時点での**地域銀行**の顧客獲得は非常に活発で、今年初頭以降で 130 万人の新規の個人客とアントレプレナー客を獲得しました。純増数は 26 万 4,000 人で、このうちの 18 万 5,000 人が個人客でした。地域銀行の事業拡大の勢いは、クレディ・アグリコル S.A.の各事業部門の成長に大きく寄与しました。このうち、フランスの主要リテール・バンキング・ネットワークである地域銀行は、リテール・バンキング部門の主要パートナーであり、当グループの顧客重視型ユニバーサル銀行モデルの強みを実証しています。顧客のクロスセルは引き続き増大しています。すなわち、個人客のプレミアムカード加入件数が昨年 12 月から今年 12 月までに 4.4%増加し、損害保険と個人保険が 4.4%増加し、更に消費者信用残高が 7.3%増加ました。

ローン残高は、2018 年 12 月末時点と比べて **6.7%増**でした。この伸びをけん引したのは、住宅ローン(7.6%増)とアントレプレナー向けローン(6%増)でした。

当四半期の**顧客資産**は、オン・バランスシート預金(6.3%増)と特に要求払預金(11.3%増)がけん引して前年同期比 **5.9%増**でした。オフ・バランスシート預金は、生命保険資産(5.3%増)がけん引して前年同期比 5.2%増でした。

当四半期のクレディ・アグリコル・グループの**基礎純利益グループ帰属分**に対する地域銀行の寄与分は、前年同期比 **26.6%増の 6 億 8,000 万ユーロ**へと急増しました。

基礎収益は、前年同期比 5.7%増の **34 億 1,300 万ユーロ**でした。この増加は、受取利息への圧力を解消する、投資ポートフォリオに対するプラスの市場影響と好調な手数料収入によって説明できます。

当四半期の**営業費用**は、当グループの中期計画に基づくIT 投資の継続を主に反映して前年同期比 **1.8%増**でした。

この結果、基礎コスト比率は 2.6 ポイント減となる 66.7%でした。

当四半期の**リスク関連費用**は前年同期比 37.9%減の 1 億 5,500 万ユーロでした。これは、(前年同期の 14 ベーシス・ポイントに対して)残高をベースとすると 10 ベーシス・ポイントに相当します[22]。更に、NPL レシオは 2018 年末の 2%に対して 1.87%に低下し、また、NPL 引当率は 99.1%と高水準を維持しました。

当年度の基礎純利益グループ帰属分に対する地域銀行の寄与分は、前年同期比 **8.1%増の 25 億 9,700 万ユーロ**でした。

クレディ・アグリコル・グループの他の事業部門の業績については、本プレスリリースのクレディ・アグリコル S.A.に関するセクションに詳述されています。

財務面の堅牢性

クレディ・アグリコル・グループの財務力は当四半期を通じて高い堅牢性を維持し、**普通株式ティア 1(CET1)レシオ**は 2019 年 9 月末時点と比べて **0.4 ポイント増の 15.9%**でした。このレシオは、ECB が 9.7%に設定し、クレディ・アグリコル・グループに適用される SREP 要件に対して 6.2 ポイントの十分なバッファーを提供します(カウンターシクリカル・バッファーを含む)。

MREL レシオは、2019 年 12 月 31 日時点でリスク・ウェイト資産の 33%と推定され、これは適格優先シニア債を除くと 22.6%となり、当年度中に 120 ベーシス・ポイント上昇しました。クレディ・アグリコル・グループの中期計画目標は、2022 年までにリスク・ウェイト資産の 24～25%の劣後 MREL レシオ(適格優先シニア債を除く)を達成することです。**特定の控えめな修正再表示後の金融機関の負債総額と自己資本の比率(負債総額自己資本－TLOF)として表示される MREL レシオは、適格優先シニア債を除くと 2019 年 12 月 31 日時点で 8.5%でした。**これは、このレシオを TLOF の 8%超(破綻処理当局の決定を条件に単一破綻処理基金に対してリコースできる水準)に維持するという中期計画目標に沿ったものです。

欧州規則 CRR2(自己資本要求規則 2)が発効した **2019 年 6 月 27 日以降、TLAC レシオ要件が適用されています。同年 12 月 31 日時点のクレディ・アグリコル・グループの TLAC レシオは、RWA の 22.6%、レバレッジ・リスク・エクスポージャー(LRE)の 7.6%でした(適格優先シニア債を除く)。**TLAC レシオは、CET1 の強化(エンポリキに関連する税効果)と 10 月の非優先シニアグリーンボンドの発行を理由に 2019 年 9 月 30 日時点と比べて 40 ベーシス・ポイント上昇しました。これは、前年と比べて 120 ベーシス・ポイント増となります。クレディ・アグリコル・グループの TLAC レシオは、リスク・ウェイト資産については 2.9 ポイント、LRE については 1.6 ポイントの幅で、2019 年 12 月 31 日時点では CRR2/CRDV の要件[23]を引き続き大きく上回っています。

段階適用レバレッジ・レシオは、2019 年 12 月末時点で 5.7%でした。

クレディ・アグリコル・グループの流動性ポジションは堅固です。2019 年 12 月 31 日現在の当グループのバンキング部門のバランスシート上の現金は 1 兆 3,310 億ユーロで、**安定資産に対する安定資金の超過額**(2019 年 9 月末時点と比べて 80 億ユーロ増の **1,260 億ユーロ**)を示しており、これは**中期計画目標(1,000 億ユーロ超)に従っています。**安定資金の超過額は、顧客や顧客関連業務の LCR(流動性カバレッジ比率)要件によって生じた HQLA(高品質流動資産)証券ポートフォリオの資金を賄います。これらの証券(1,080 億ユーロ)は、中央銀行預託分を除いた短期

---

[22] ローリング 4 四半期を対象とした年換算平均に基づいて計算した連結残高との比較。

[23] CRR2 の発効に伴い、クレディ・アグリコル・グループは以下の TLAC 要件を常に満たす必要がある(すなわち、リスク・ウェイト資産の 16%プラス CRDV に従ったコンバインド・バッファー要件(2019 年 12 月 31 日時点で 2.5%の資本保全バッファー、1%のシステミック・バッファー、0.20%のカウンターシクリカル・バッファーを含む)、及びレバレッジ・リスク・エクスポージャーの 6%)。

債券を 5 倍以上カバーします。

証券ポートフォリオのキャピタルゲインとヘアーカットを含む**流動性準備金**は、**2019 年 12 月 31 日時点で 2,980 億ユーロ**でした。12 カ月間の当グループの平均 LCR レシオは、2019 年 12 月末時点で 128.8%[24]となり、およそ 110%という中期計画目標を上回っています。

当グループの主要発行体は 2019 年 12 月末現在、中・長期債によって市場で 384 億ユーロ相当額を調達し、このうちの 43%はクレディ・アグリコル S.A.によって発行されました。更に、クレディ・アグリコル・グループのリテール・バンキング・ネットワーク（地域銀行、LCL、CA イタリア）と他の外部ネットワークで 39 億ユーロ規模の調達が行われ、または 2019 年 12 月末現在で国際機関から借入が行われました。

*　　*

*

SAS Rue La Boétie 会長とクレディ・アグリコル S.A.の取締役会議長を務めるドミニク・ルフェーブルは、当グループの 2019 年度第 4 四半期及び当年度通年の業績と事業について「当グループの全ての事業部門は、2019 年度にフランス及び国外で引き続き事業を拡大しました。6 月に中期計画を発表したときに定めたわれわれの存在意義「*われわれの顧客と社会のために日々仕事に取り組む*」*に従って、全てのセグメントで顧客満足度が向上しています。われわれは、特に 50 万人の顧客との接触を可能にした「Trajectoires Patrimoine」施策を通じて、顧客との関係を強化しました。また、EKO、「LCL Essentiel」、「Je suis entrepreneur」などの革新的な商品を発売しました。当グループの 14 万 2,000 人の従業員は、顧客への奉仕に取り組んでいます。わたしは、「フィナンシャルタイムズ」紙がクレディ・アグリコル・グループをダイバーシティの面でフランスの金融サービス部門第 1 位に選定したこと、更には、クレディ・アグリコル CIB が 37 億ユーロ相当のソーシャルボンドを発行し、アムンディの社会的インパクトファンドの残高が 26%近く伸びたことでインクルーシブ・ファイナンス、（野心的な気候戦略の定義を伴う）グリーンファイナンス、及び今年度のグリーンボンドとグリーンカバードボンドなどの面で社会への関わりを拡大していることを誇りに感じています*」とコメントしました。

[24] このレシオの分子と分母は、クレディ・アグリコル・グループに関してはそれぞれ 2,232 億ユーロ、1,733 億ユーロとなった。

付属資料 1 ー 特殊要因(クレディ・アグリコル S.A.とクレディ・アグリコル・グループ)

クレディ・アグリコル S.A. ー 特殊要因(2019 年度第 4 四半期と 2018 年度第 4 四半期、2019 年度と 2018 年度)

In €m	Q4-19		Q4-18		2019		2018	
	Gross impact *	Impact on Net income	Gross impact *	Impact on Net income	Gross impact*	Impact on Net income	Gross impact*	Impact on Net income
DVA (LC)	(6)	(4)	15	11	(21)	(15)	22	16
Loan portfolio hedges (LC)	(16)	(11)	17	12	(44)	(32)	23	17
Home Purchase Savings Plans (FRB)	(12)	(8)	1	1	(31)	(20)	(1)	(1)
Home Purchase Savings Plans (CC)	(32)	(21)	6	4	(90)	(59)	(3)	(2)
Total impact on revenues	**(66)**	**(44)**	39	28	**(186)**	**(126)**	**41**	30
Santander/Kas Bank integration costs (LC)	(15)	(11)	-	-	(15)	(11)	-	-
Pioneer integration costs (AG)	-	-	(27)	(14)	-	-	(56)	(29)
3 Italian banks integration costs (IRB)	-	-	(11)	(6)	-	-	(2)	(1)
Total impact on operating expenses	**(15)**	**(11)**	**(38)**	**(20)**	**(15)**	**(11)**	**(59)**	**(30)**
ECB fine (CC)	-	-	-	-	-	-	(5)	(5)
Total impact Non-allocated legal risk provisions	-	-	-	-	-	-	**(5)**	**(5)**
FCA Bank fine (SFS)	-	-	(67)	(67)	-	-	(67)	(67)
Total impact on equity affiliates	-	-	**(67)**	**(67)**	-	-	**(67)**	**(67)**
Impairment LCL goodwill (CC)	(611)	(611)	-	-	(611)	(611)	-	-
Badwill Kas Bank (LC)	22	22	-	-	22	22	-	-
Change of value of goodwill (CC)(1)	-	-	-	-	-	-	86	66
Total impact on change of value of goodwill	**(589)**	**(589)**	-	-	**(589)**	**(589)**	**86**	**66**
Emporiki litigation (CC)	-	1,038	-	-	-	1,038	-	-
Total impact on tax	-	**1,038**	-	-	-	**1,038**	-	-
Santander/Kas Bank acquisition costs (LC)	(6)	(5)	-	-	(6)	(5)	-	-
Total impact on Net income on other assets	**(6)**	**(5)**	-	-	**(6)**	**(5)**	-	-
Reclassification of held-for-sale operations (IRB)	(46)	(46)	-	-	(46)	(46)	-	-
Total impact on Net income from discounted or held-for-sale operations	**(46)**	**(46)**	-	-	**(46)**	**(46)**	-	-
Total impact of specific items	***(723)***	***343***	***(66)***	***(59)***	***(843)***	***262***	***(4)***	***(5)***
Asset gathering	***-***	***-***	***(27)***	***(14)***	***-***	***-***	***(56)***	***(29)***
French Retail banking	***(12)***	***(8)***	***1***	***1***	***(31)***	***(20)***	***(1)***	***(1)***
International Retail banking	***(46)***	***(46)***	***(11)***	***(6)***	***(46)***	***(46)***	***(2)***	***(1)***
Specialised financial services	***-***	***-***	***(67,0)***	***(67)***	***-***	***-***	***(67,0)***	***(67)***
Large customers	***(22)***	***(9)***	***32***	***23***	***(65)***	***(40)***	***45***	***33***
Corporate centre	***(643)***	***406***	***6***	***4***	***(701)***	***368***	***78***	***59***

* *税引前及び少数株主持分控除前の影響。*

クレディ･アグリコル･グループ ー 特殊要因（2019 年度第 4 四半期と 2018 年度第 4 四半期、2019 年度と 2018 年度）

In €m	Q4-19		Q4-18		2019		2018	
	*Gross impact **	*Impact on Net income*	*Gross impact **	*Impact on Net income*	*Gross impact **	*Impact on Net income*	*Gross impact **	*Impact on Net income*
DVA (LC)	(6)	(4)	15	11	(21)	(16)	22	16
Loan portfolio hedges (LC)	(16)	(12)	17	13	(44)	(32)	23	17
Home Purchase Savings Plans (LCL)	(12)	(8)	1	1	(31)	(20)	(1)	(1)
Home Purchase Savings Plans (CC)	(32)	(21)	6	4	(90)	(59)	(3)	(2)
Home Purchase Savings Plans (RB)	(137)	(90)	7	4	(307)	(201)	(15)	(10)
Total impact on revenues	**(202)**	**(135)**	**46**	**33**	**(493)**	**(329)**	**26**	**21**
Santander/Kas Bank integration costs (LC)	(15)	(11)	-	-	(15)	(11)	-	-
Pioneer integration costs (AG)	-	-	(27)	(14)	-	-	(56)	(29)
3 Italian banks integration costs (IRB)	-	-	(11)	(7)	-	-	(2)	(0)
Total impact on operating expenses	**(15)**	**(11)**	**(38)**	**(21)**	**(15)**	**(11)**	**(59)**	**(29)**
ECB fine (CC)	-	-	-	-	-	-	(5)	(5)
Total impact Non-allocated legal risk provisions	-	-			-	-	**(5)**	**(5)**
FCA Bank fine (SFS)	-	-	(67)	(67)	-	-	(67)	(67)
Total impact on equity affiliates	-	-	**(67)**	**(67)**	-	-	**(67)**	**(67)**
Impairment LCL goodwill (CC)	(664)	(664)	-	-	(664)	(664)	-	-
Badwill Kas Bank (LC)	22	22	-	-	22	22	-	-
Change of value of goodwill (CC)(1)	-	-	-	-	-	-	86	74
Total impact on change of value of goodwill	**(642)**	**(642)**	-	-	**(642)**	**(642)**	**86**	**74**
Emporiki litigation (CC)	(6)	(5)	-	-	(6)	(5)	-	-
Total impact on tax	**(6)**	**(5)**	-	-	**(6)**	**(5)**	-	-
Santander/Kas Bank acquisition costs (LC)	-	1,038	-	-	-	1,038	-	-
Total impact on Net income on other assets	-	**1,038**	-	-	-	**1,038**	-	-
Reclassification of held-for-sale operations (IRB)	(46)	(46)	-	-	(46)	(46)	-	-
Total impact on Net income from discounted or held-for-sale operations	**(46)**	**(46)**	-	-	**(46)**	**(46)**	-	-
Total impact of specific items	**(912)**	**200**	**(59)**	**(55)**	**(1,202)**	**6**	**(19)**	**(5)**
Asset gathering	*-*	*-*	*(27)*	*(14)*	*-*	*-*	*(56)*	*(29)*
French Retail banking	*(149)*	*(98)*	*8*	*5*	*(338)*	*(222)*	*(16)*	*(10)*
International Retail banking	*(46)*	*(46)*	*(11)*	*(7)*	*(46)*	*(46)*	*(2)*	*(0)*
Specialised financial services	*-*	*-*	*(67,0)*	*(67)*	*-*	*-*	*(67)*	*(67)*
Large customers	*(22)*	*(10)*	*32*	*24*	*(65)*	*(42)*	*45*	*34*
Corporate centre	*(696)*	*353*	*6*	*4*	*(754)*	*315*	*78*	*67*

* *税引前及び少数株主持分控除前の影響。*

付属資料 2 ー クレディ･アグリコル S.A.：詳細な表示損益計算書と基礎的損益計算書

クレディ･アグリコル S.A. ー 表示実績から基礎的実績（2019 年度第 4 四半期と 2018 年度第 4 四半期）

In €m	Q4-19 stated	Specific items	Q4-19 underlying	Q4-18 stated	Specific items	Q4-18 underlying	Q4/Q4 stated	Q4/Q4 underlying
Revenues	**5,119**	**(66)**	**5,184**	**4,853**	**39**	**4,814**	**+5.5%**	**+7.7%**
Operating expenses excl.SRF	(3,260)	(15)	(3,244)	(3,213)	(38)	(3,175)	+1.5%	+2.2%
SRF	(0)	-	(0)	-	-	-	n.m.	n.m.
Gross operating income	**1,859**	**(81)**	**1,940**	**1,641**	**1**	**1,640**	**+13.3%**	**+18.3%**
Cost of risk	(340)	-	(340)	(246)	-	(246)	+38.0%	+38.0%
Cost of legal risk	-	-	-	(75)	-	(75)	(100.0%)	(100.0%)
Equity-accounted entities	76	-	76	7	(67)	74	x 10.3	+2.6%
Net income on other assets	14	(6)	20	56	-	56	(74.7%)	(63.7%)
Change in value of goodwill	(589)	(589)	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Income before tax	**1,021**	**(677)**	**1,697**	**1,383**	**(66)**	**1,450**	**(26.2%)**	**+17.1%**
Tax	847	1,065	(219)	(222)	(1)	(221)	n.m.	(1.0%)
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	(46)	(46)	(0)	(0)	-	(0)	n.m.	n.m.
Net income	**1,821**	**342**	**1,479**	**1,161**	**(67)**	**1,229**	**+56.8%**	**+20.4%**
Non controlling interests	(160)	1	(161)	(154)	8	(162)	+4.0%	(0.6%)
Net income Group Share	**1,661**	**343**	**1,318**	**1,008**	**(59)**	**1,067**	**+64.9%**	**+23.5%**
Earnings per share (€)	**0.54**	**0.12**	**0.42**	**0.31**	**(0.02)**	**0.33**	**+75.5%**	**+28.1%**
Cost/Income ratio excl. SRF (%)	**63.7%**		**62.6%**	**66.2%**		**65.9%**	**-2.5 pp**	**-3.4 pp**
Net income Group Share excl. SRF	**1,661**	**343**	**1,318**	**1,008**	**(59)**	**1,067**	**+64.9%**	**+23.5%**

クレディ･アグリコル S.A. ― 表示実績から基礎的実績（2019 年度と 2018 年度）

In €m	Q4-19 stated	Specific items	Q4-19 underlying	Q4-18 stated	Specific items	Q4-18 underlying	Q4/Q4 stated	Q4/Q4 underlying
Revenues	**20,153**	**(186)**	**20,339**	**19,736**	**41**	**19,694**	+2.1%	+3.3%
Operating expenses excl.SRF	(12,421)	(15)	(12,405)	(12,286)	(59)	(12,227)	+1.1%	+1.5%
SRF	(340)	-	(340)	(302)	-	(302)	+12.5%	+12.5%
Gross operating income	**7,392**	**(201)**	**7,594**	**7,147**	**(18)**	**7,165**	**+3.4%**	**+6.0%**
Cost of risk	(1,256)	-	(1,256)	(1,002)	-	(1,002)	+25.5%	+25.5%
Cost of legal risk	-	-	-	(80)	(5)	(75)	(100.0%)	(100.0%)
Equity-accounted entities	352	-	352	256	(67)	323	+37.6%	+9.0%
Net income on other assets	54	(6)	60	89	-	89	(39.5%)	(32.5%)
Change in value of goodwill	(589)	(589)	-	86	86	-	n.m.	n.m.
Income before tax	**5,952**	**(797)**	**6,749**	**6,496**	**(4)**	**6,500**	**(8.4%)**	**+3.8%**
Tax	(456)	1,103	(1,559)	(1,466)	5	(1,471)	(68.9%)	+6.0%
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	(38)	(46)	8	(3)	-	(3)	n.m.	n.m.
Net income	**5,458**	**260**	**5,198**	**5,027**	**2**	**5,026**	**+8.6%**	**+3.4%**
Non controlling interests	(614)	2	(616)	(627)	(7)	(620)	(2.1%)	(0.7%)
Net income Group Share	**4,844**	**262**	**4,582**	**4,400**	**(5)**	**4,405**	**+10.1%**	**+4.0%**
Earnings per share (€)	**1.48**	**0.09**	**1.39**	**1.39**	**(0.00)**	**1.39**	**+6.9%**	**+0.1%**
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	**61.6%**		**61.0%**	**62.3%**		**62.1%**	**-0.6 pp**	**-1.1 pp**
Net income Group Share excl. SRF	**5,159**	**262**	**4,897**	**4,687**	**(5)**	**4,692**	**+10.1%**	**+4.4%**

付属資料 3 ー クレディ･アグリコル S.A.：部門別実績

クレディ･アグリコル S.A.：部門別寄与（2019 年度第 4 四半期と 2018 年度第 4 四半期）

	Q4-19 (stated)						
€m	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	**1,623**	**851**	**713**	**672**	**1,401**	**(141)**	**5,119**
Operating expenses excl. SRF	(746)	(598)	(454)	(331)	(902)	(229)	(3,260)
SRF	-	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)
Gross operating income	**877**	**254**	**259**	**341**	**499**	**(370)**	**1,859**
Cost of risk	(5)	(64)	(78)	(127)	(55)	(10)	(340)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	14	-	-	65	3	(5)	76
Net income on other assets	11	1	3	(0)	7	(8)	14
Change in value of goodwill	-	-	-	-	22	(611)	(589)
Income before tax	**896**	**191**	**184**	**278**	**476**	**(1,004)**	**1,021**
Tax	(224)	(53)	(49)	(40)	(67)	1,278	847
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	(46)	-	-	(0)	(46)
Net income	**672**	**138**	**90**	**238**	**409**	**274**	**1,821**
Non controlling interests	(90)	(6)	(31)	(25)	(10)	2	(160)
Net income Group Share	**583**	**132**	**59**	**213**	**399**	**276**	**1,661**

	Q4-18 (stated)						
€m	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	**1,470**	**842**	**704**	**690**	**1,210**	**(63)**	**4,853**
Operating expenses excl. SRF	(724)	(597)	(467)	(356)	(813)	(256)	(3,213)
SRF	-	-	-	-	-	-	-
Gross operating income	**746**	**245**	**237**	**335**	**397**	**(319)**	**1,641**
Cost of risk	(22)	(63)	(84)	(99)	26	(5)	(246)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	(75)	(75)
Equity-accounted entities	10	-	-	(2)	(1)	1	7
Net income on other assets	(1)	47	14	(0)	(0)	(3)	56
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	**733**	**230**	**167**	**233**	**422**	**(401)**	**1,383**
Tax	(176)	(87)	(39)	(40)	(79)	199	(222)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	(0)	-	-	-	-	-	(0)
Net income	**558**	**142**	**127**	**194**	**343**	**(202)**	**1,161**
Non controlling interests	(60)	(6)	(32)	(40)	(6)	(10)	(154)
Net income Group Share	**498**	**136**	**96**	**154**	**337**	**(213)**	**1,008**

クレディ・アグリコル S.A.：部門別寄与（2019 年度と 2018 年度）

2019 (stated)							
€m	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	**6,078**	**3,457**	**2,796**	**2,716**	**5,603**	**(497)**	**20,153**
Operating expenses excl. SRF	(2,896)	(2,340)	(1,731)	(1,343)	(3,321)	(789)	(12,421)
SRF	(7)	(32)	(22)	(18)	(177)	(83)	(340)
Gross operating income	**3,174**	**1,086**	**1,042**	**1,354**	**2,105**	**(1,369)**	**7,392**
Cost of risk	(19)	(217)	(335)	(497)	(160)	(28)	(1,256)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	46	-	-	295	4	6	352
Net income on other assets	32	2	2	0	6	12	54
Change in value of goodwill	-	-	-	-	22	(611)	(589)
Income before tax	**3,233**	**870**	**710**	**1,152**	**1,978**	**(1,991)**	**5,952**
Tax	(881)	(274)	(199)	(233)	(407)	1,539	(456)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	8	-	(46)	-	-	(0)	(38)
Net income	**2,360**	**596**	**465**	**919**	**1,570**	**(452)**	**5,458**
Non controlling interests	(326)	(27)	(132)	(104)	(32)	7	(614)
Net income Group Share	**2,034**	**570**	**333**	**815**	**1,538**	**(445)**	**4,844**

2018 (stated)							
€m	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	**5,778**	**3,433**	**2,732**	**2,769**	**5,368**	**(344)**	**19,736**
Operating expenses excl. SRF	(2,833)	(2,363)	(1,716)	(1,362)	(3,169)	(842)	(12,286)
SRF	(3)	(28)	(22)	(18)	(170)	(62)	(302)
Gross operating income	**2,941**	**1,043**	**994**	**1,389**	**2,030**	**(1,249)**	**7,147**
Cost of risk	(17)	(220)	(358)	(467)	64	(5)	(1,002)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	(80)	(80)
Equity-accounted entities	47	-	-	187	0	21	256
Net income on other assets	(3)	50	14	1	14	13	89
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	86	86
Income before tax	**2,969**	**873**	**650**	**1,110**	**2,108**	**(1,213)**	**6,496**
Tax	(774)	(288)	(185)	(244)	(550)	576	(1,466)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	(1)	(1)	-	(0)	-	-	(3)
Net income	**2,193**	**584**	**465**	**866**	**1,557**	**(638)**	**5,027**
Non controlling interests	(285)	(26)	(124)	(128)	(30)	(35)	(627)
Net income Group Share	**1,908**	**558**	**341**	**738**	**1,528**	**(672)**	**4,400**

付属資料 4 ― クレディ･アグリコル･グループ：詳細な表示損益計算書と基礎的損益計算書

クレディ･アグリコル･グループ ― 表示実績と基礎的実績（2019 年度第 4 四半期と 2018 年度第 4 四半期）								
€m	Q4-19 stated	Specific items	Q4-19 underlying	Q4-18 stated	Specific items	Q4-18 underlying	Q4/Q4 stated	Q4/Q4 underlying
Revenues	**8,399**	**(202)**	**8,602**	**8,110**	**46**	**8,064**	+3.6%	+6.7%
Operating expenses excl.SRF	(5,582)	(15)	(5,566)	(5,478)	(38)	(5,440)	+1.9%	+2.3%
SRF	-	-	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Gross operating income	**2,818**	**(218)**	**3,035**	**2,632**	**8**	**2,624**	**+7.1%**	**+15.7%**
Cost of risk	(494)	-	(494)	(499)	-	(499)	(1.0%)	(1.0%)
Cost of legal risk	-	-	-	(75)	-	(75)	(100.0%)	(100.0%)
Equity-accounted entities	83	-	83	10	(67)	77	x 8	+7.5%
Net income on other assets	15	(6)	21	48	-	48	(69.2%)	(56.1%)
Change in value of goodwill	(642)	(642)	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Income before tax	**1,780**	**(866)**	**2,646**	**2,116**	**(59)**	**2,175**	**(15.9%)**	**+21.6%**
Tax	587	1,112	(525)	(416)	(3)	(412)	n.m.	+27.4%
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	(46)	(46)	(0)	(0)	-	(0)	x 1768.1	x 8.1
Net income	**2,320**	**200**	**2,120**	**1,700**	**(63)**	**1,763**	**+36.5%**	**+20.3%**
Non controlling interests	(134)	-	(134)	(130)	8	(137)	+3.7%	(2.1%)
Net income Group Share	**2,186**	**200**	**1,986**	**1,571**	**(55)**	**1,626**	**+39.2%**	**+22.1%**
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	**66.5%**		**64.7%**	**67.5%**		**67.5%**	**-1.1 pp**	**-2.7 pp**
Net income Group Share excl. SRF	**2,186**	**200**	**1,986**	**1,571**	**(55)**	**1,626**	**+39.2%**	**+22.1%**

クレディ･アグリコル･グループ　－　表示実績と基礎的実績（2019 年度と 2018 年度）								
€m	2019 stated	Specific items	2019 underlying	2018 stated	Specific items	2018 underlying	2019/2018 stated	2019/2018 underlying
Revenues	**33,297**	**(493)**	**33,790**	**32,839**	**26**	**32,813**	+1.4%	+3.0%
Operating expenses excl.SRF	(21,386)	(15)	(21,371)	(21,064)	(59)	(21,005)	+1.5%	+1.7%
SRF	(426)	-	(426)	(389)	-	(389)	+9.4%	+9.4%
Gross operating income	**11,485**	**(508)**	**11,993**	**11,385**	**(32)**	**11,418**	**+0.9%**	**+5.0%**
Cost of risk	(1,757)	-	(1,757)	(1,640)	-	(1,640)	+7.1%	+7.1%
Cost of legal risk	-	-	-	(80)	(5)	(75)	(100.0%)	(100.0%)
Equity-accounted entities	356	-	356	266	(67)	333	+33.9%	+7.0%
Net income on other assets	36	(6)	42	87	-	87	(59.0%)	(51.8%)
Change in value of goodwill	(642)	(642)	-	86	86	-	n.m.	n.m.
Income before tax	**9,478**	**(1,156)**	**10,634**	**10,105**	**(19)**	**10,123**	**(6.2%)**	**+5.0%**
Tax	(1,737)	1,208	(2,945)	(2,733)	10	(2,743)	(36.5%)	+7.4%
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	(38)	(46)	8	(3)	-	(3)	x 12.5	n.m.
Net income	**7,704**	**6**	**7,697**	**7,369**	**(8)**	**7,377**	**+4.5%**	**+4.3%**
Non controlling interests	(506)	-	(506)	(525)	3	(527)	(3.5%)	(4.0%)
Net income Group Share	**7,198**	**6**	**7,191**	**6,844**	**(5)**	**6,849**	**+5.2%**	**+5.0%**
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	**64.2%**		**63.2%**	**64.1%**		**64.0%**	**+0.1 pp**	**-0.8 pp**
Net income Group Share excl. SRF	**7,604**	**6**	**7,597**	**7,221**	**(5)**	**7,226**	**+5.3%**	**+5.1%**

付属資料 5 ― クレディ･アグリコル･グループ：部門別実績

クレディ･アグリコル･グループ ― 部門別寄与（2019 年度第 4 四半期と 2018 年度第 4 四半期）

	Q4-19 (stated)							
€m	RB	LCL	IRB	AG	SFS	LC	CC	Total
Revenues	**3,276**	**851**	**740**	**1,621**	**672**	**1,401**	**(163)**	**8,399**
Operating expenses excl. SRF	(2,276)	(598)	(478)	(746)	(331)	(902)	(251)	(5,582)
SRF	-	-	-	-	-	-	-	-
Gross operating income	**1,000**	**254**	**262**	**875**	**341**	**499**	**(414)**	**2,818**
Cost of risk	(155)	(64)	(77)	(5)	(127)	(55)	(10)	(494)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	2	-	-	14	65	3	-	83
Net income on other assets	1	1	3	11	(0)	7	(8)	15
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	22	(664)	(642)
Income before tax	**848**	**191**	**188**	**895**	**278**	**476**	**(1,096)**	**1,780**
Tax	(257)	(53)	(49)	(225)	(40)	(67)	1,277	587
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	-	-	(46)	-	-	-	(0)	(46)
Net income	**590**	**138**	**93**	**670**	**238**	**409**	**181**	**2,320**
Non controlling interests	(0)	(0)	(25)	(85)	(25)	(1)	2	(134)
Net income Group Share	**590**	**138**	**69**	**585**	**213**	**408**	**184**	**2,186**

	Q4-18 (stated)							
€m	RB	LCL	AG	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	**3,235**	**841**	**1,469**	**730**	**690**	**1,210**	**(66)**	**8,110**
Operating expenses excl. SRF	(2,236)	(597)	(724)	(488)	(356)	(813)	(266)	(5,478)
SRF	-	-	-	-	-	-	-	-
Gross operating income	**1,000**	**244**	**745**	**243**	**335**	**397**	**(331)**	**2,632**
Cost of risk	(250)	(63)	(22)	(84)	(99)	26	(8)	(499)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	(75)	(75)
Equity-accounted entities	4	-	10	-	(2)	(1)	-	10
Net income on other assets	(9)	47	(1)	14	(0)	(0)	(3)	48
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	**745**	**229**	**732**	**173**	**233**	**422**	**(418)**	**2,116**
Tax	(204)	(87)	(175)	(41)	(40)	(79)	210	(416)
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	-	-	(0)	-	-	-	-	(0)
Net income	**541**	**142**	**557**	**132**	**194**	**343**	**(208)**	**1,700**
Non controlling interests	0	0	(57)	(26)	(40)	1	(8)	(130)
Net income Group Share	**541**	**142**	**500**	**106**	**154**	**344**	**(216)**	**1,571**

クレディ・アグリコル・グループ ― 部門別寄与 ― 表示（2019 年度と 2018 年度）

	2019 (stated)							
€m	RB	LCL	IRB	AG	SFS	LC	CC	Total
Revenues	**13,117**	**3,457**	**2,898**	**6,061**	**2,716**	**5,601**	**(553)**	**33,297**
Operating expenses excl. SRF	(8,836)	(2,340)	(1,813)	(2,897)	(1,343)	(3,321)	(837)	(21,386)
SRF	(86)	(32)	(22)	(7)	(18)	(177)	(83)	(426)
Gross operating income	**4,196**	**1,085**	**1,063**	**3,157**	**1,354**	**2,103**	**(1,473)**	**11,485**
Cost of risk	(498)	(217)	(337)	(19)	(497)	(159)	(29)	(1,757)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	11	-	-	46	295	4	-	356
Net income on other assets	(6)	2	2	32	0	6	(1)	36
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	22	(664)	(642)
Income before tax	**3,703**	**870**	**728**	**3,215**	**1,152**	**1,976**	**(2,166)**	**9,478**
Tax	(1,307)	(274)	(201)	(879)	(233)	(407)	1,564	(1,737)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	(46)	8	-	-	(0)	(38)
Net income	**2,396**	**596**	**481**	**2,345**	**919**	**1,569**	**(602)**	**7,704**
Non controlling interests	(0)	(0)	(105)	(309)	(104)	(0)	14	(506)
Net income Group Share	**2,396**	**596**	**375**	**2,035**	**815**	**1,569**	**(588)**	**7,198**

	2018 (stated)							
€m	RB	LCL	AG	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	**13,040**	**3,433**	**5,770**	**2,835**	**2,769**	**5,370**	**(377)**	**32,839**
Operating expenses excl. SRF	(8,657)	(2,363)	(2,833)	(1,790)	(1,362)	(3,169)	(890)	(21,064)
SRF	(87)	(28)	(3)	(22)	(18)	(170)	(62)	(389)
Gross operating income	**4,296**	**1,042**	**2,934**	**1,023**	**1,389**	**2,031**	**(1,329)**	**11,385**
Cost of risk	(634)	(220)	(17)	(359)	(467)	64	(8)	(1,640)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	(80)	(80)
Equity-accounted entities	12	-	47	-	187	0	19	266
Net income on other assets	(1)	50	(3)	14	1	14	13	87
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	86	86
Income before tax	**3,673**	**872**	**2,961**	**678**	**1,110**	**2,109**	**(1,299)**	**10,105**
Tax	(1,280)	(288)	(773)	(191)	(244)	(551)	594	(2,733)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	(1)	(1)	-	(0)	-	-	(3)
Net income	**2,393**	**583**	**2,186**	**487**	**866**	**1,559**	**(705)**	**7,369**
Non controlling interests	(0)	0	(271)	(101)	(128)	2	(27)	(525)
Net income Group Share	**2,393**	**583**	**1,916**	**386**	**738**	**1,560**	**(732)**	**6,844**

付属資料 6 ー 1 株当たり利益、1 株当たり純資産、及び ROTE の計算に使用される方法

クレディ･アグリコル S.A. ー 1 株当たりデータ

(€m)		Q4-19	Q4-18	2019	2018	Q4/Q4	19/18
Net income Group share - stated		1,661	1,008	4,844	4,400	+64.9%	+10.1%
- Interests on AT1, including issuance costs, before tax		(105)	(127)	(587)	(443)	-17.3%	+32.5%
NIGS attributable to ordinary shares - stated	[A]	**1,556**	**881**	**4,257**	**3,957**	**+76.7%**	**+7.6%**
Average number shares in issue, excluding treasury shares (m)	[B]	2,883.5	2,863.0	2,873.4	2,853.7	+0.7%	+0.7%
Net earnings per share - stated	[A]/[B]	**0.54 €**	**0.31 €**	**1.48 €**	**1.39 €**	**+75.5%**	**+6.9%**
Underlying net income Group share (NIGS)		1,318	1,067	4,582	4,405	+23.5%	+4.0%
Underlying NIGS attributable to ordinary shares	[C]	**1,213**	**940**	**3,995**	**3,962**	**+29.0%**	**+0.8%**
Net earnings per share - underlying	[C]/[B]	**0.42 €**	**0.33 €**	**1.39 €**	**1.39 €**	**+28.1%**	**+0.1%**

(€m)		31/12/2019	31/12/2018
Shareholder's equity Group share		62,921	58,811
- AT1 issuances		(5,134)	(5,011)
- Unrealised gains and losses on OCI - Group share		(2,993)	(1,696)
- Payout assumption on annual results*		(2,019)	(1,975)
Net book value (NBV), not revaluated, attributable to ordin. sh.	[D]	**52,774**	**50,129**
- Goodwill & intangibles** - Group share		(18,011)	(17,843)
Tangible NBV (TNBV), not revaluated attrib. to ordinary sh.	[E]	**34,764**	**32,286**
Total shares in issue, excluding treasury shares (period end, m)	[F]	2,884.3	2,862.1
NBV per share , after deduction of dividend to pay (€)	[D]/[F]	**18.3 €**	**17.5 €**
+ Dividend to pay (€)	[H]	**0.7 €**	**0.69 €**
NBV per share , before deduction of dividend to pay (€)		**19.0 €**	**18.2 €**
TNBV per share, after deduction of dividend to pay (€)	[G]=[E]/[F]	**12.1 €**	**11.3 €**
TNBV per sh., before deduct. of divid. to pay (€)	[G]+[H]	**12.8 €**	**12.0 €**

(€m)		2019	2018
Net income Group share attributable to ordinary shares	[H]	4,257	3,957
Tangible NBV (TNBV), not revaluated attrib. to ord. sh. - avg***	[J]	33,525	31,120
Stated ROTE (%)	[H]/[J]	**12.7%**	**12.7%**
Underlying Net income attrib. to ord. shares (annualised)	[I]	3,995	3,962
Underlying ROTE (%)	[I]/[J]	**11.9%**	**12.7%**

*** *計画された利益配分を想定。*

Disclaimer

Financial information on Crédit Agricole S.A. and Crédit Agricole Group for the fourth quarter and full year 2019 comprises this presentation and the attached press release and quarterly financial report which are available on the website at https://www.credit-agricole.com/en/finance/finance/financial-publications.

This presentation may include prospective information on the Group, supplied as information on trends. This data does not represent forecasts within the meaning of European Regulation 809/2004 of 29 April 2004 (chapter 1, article 2, § 10).

This information was developed from scenarios based on a number of economic assumptions for a given competitive and regulatory environment. Therefore, these assumptions are by nature subject to random factors that could cause actual results to differ from projections. Likewise, the financial statements are based on estimates, particularly in calculating market value and asset impairment.

Readers must take all these risk factors and uncertainties into consideration before making their own judgement.

Applicable standards and comparability

The figures presented for the full year period ending 31 December 2019 have been prepared in accordance with IFRS as adopted in the European Union and applicable at that date, and with prudential regulations currently in force. The Statutory Auditor's audit work on the financial consolidated statements is under way.

Note: The scopes of consolidation of Crédit Agricole S.A. and Crédit Agricole Group have not changed materially since the Crédit Agricole S.A. 2018 Registration Document and its 2018 A.01 update (including all regulatory information about Crédit Agricole Group) were filed with the AMF (French Financial Markets Authority).

The sum of values contained in the tables and analyses may differ slightly from the total reported due to rounding.

Since 3 May 2018, Banca Leonardo has been included in the scope of consolidation of Crédit Agricole Group as a subsidiary of Indosuez Wealth Management. Historical data have not been restated on a proforma basis.

Since 30 September 2019, Kas Bank has been included in the scope of consolidation of Crédit Agricole Group as a subsidiary of CACEIS. SoYou has also been included in the scope of consolidation as a joint-venture between Crédit Agricole Consumer Finance and Bankia. Historical data have not been restated on a proforma basis.

Since 23 December 2019, Caceis and Santander Securities Services (S3) have been bringing their activities together. As of this date, Crédit Agricole S.A. and Santander hold 69.5% and 30.5% of the share capital in CACEIS, respectively.

決算スケジュール

2020 年 5 月 6 日	2020 年度第 1 四半期の決算発表
2020 年 5 月 13 日	年次株主総会（パリ）
2020 年 8 月 6 日	2020 年度第 2 四半期及び上半期の決算発表
2020 年 11 月 4 日	2020 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の決算発表

Contacts

CREDIT AGRICOLE PRESS CONTACTS

Charlotte de Chavagnac	+ 33 1 57 72 11 17	charlotte.dechavagnac@credit-agricole-sa.fr
Olivier Tassain	+ 33 1 43 23 25 41	olivier.tassain@credit-agricole-sa.fr
Bertrand Schaefer	+ 33 1 49 53 43 76	bertrand.schaefer@ca-fnca.fr

CREDIT AGRICOLE S.A INVESTOR RELATIONS CONTACTS

Institutional shareholders	+ 33 1 43 23 04 31	investor.relations@credit-agricole-sa.fr
Individual shareholders	+ 33 800 000 777 (freephone number – France only)	credit-agricole-sa@relations-actionnaires.com
Clotilde L'Angevin	+ 33 1 43 23 32 45	clotilde.langevin@credit-agricole-sa.fr
Equity investors:		
Toufik Belkhatir	+ 33 1 57 72 12 01	toufik.belkhatir@credit-agricole-sa.fr
Joséphine Brouard	+ 33 1 43 23 48 33	Joséphine.brouard@credit-agricole-sa.fr
Oriane Cante	+ 33 1 43 23 03 07	oriane.cante@credit-agricole-sa.fr
Emilie Gasnier	+ 33 1 43 23 15 67	emilie.gasnier@credit-agricole-sa.fr
Ibrahima Konaté	+ 33 1 43 23 51 35	ibrahima.konate@credit-agricole-sa.fr
Vincent Liscia	+ 33 1 57 72 38 48	vincent.liscia@credit-agricole-sa.fr
Annabelle Wiriath	+ 33 1 43 23 55 52	annabelle.wiriath@credit-agricole-sa.fr
Credit investors and rating agencies:		
Caroline Crépin	+ 33 1 43 23 83 65	caroline.crepin@credit-agricole-sa.fr
Marie-Laure Malo	+ 33 1 43 23 10 21	marielaure.malo@credit-agricole-sa.fr
Rhita Alami Hassani	+ 33 1 43 23 15 27	rhita.alamihassani@credit-agricole-sa.fr

See all our press releases at: www.credit-agricole.com - www.creditagricole.info

Crédit_Agricole Crédit Agricole Group créditagricole_sa